

令和 8 年度温暖化防止いわて県民会議

日時：令和 8 年 6 月 8 日（月）14：00～16：00

場所：サンセール盛岡 1 階大ホール

次 第

1 総 会

- (1) 開会
- (2) 挨拶（副知事）
- (3) 会長選任
- (4) できることから E C O アクション！表彰式
- (5) 議事（協議・報告事項）
 - ア 令和 7 年度活動実績について
 - イ 若者ワーキンググループ活動報告について
 - ウ 令和 8 年度活動計画案について
 - エ その他（連絡事項等）

(6) 特別講演

Earth hacks 株式会社 代表取締役社長 CEO 関根 澄人 氏
「県民が自ら選びたくなるこれからの脱炭素」

2 閉 会

温暖化防止いわて県民会議 役員の改選について

1 趣旨

会長退任に伴い、会則第5条の規定により、総会において新たに役員の選任を行うもの。

【参考】温暖化防止いわて県民会議会則（抜粋）

（役 員）

第5条 県民会議に次の役員を置く。

(1) 会長 1人

(2) 副会長 2人

2 会長は、総会において選任する。

3 副会長は、会長が指名する。

（役員の任期）

第7条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 欠員が生じたことにより就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、その任期が満了した場合、後任者が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

2 任期

令和8年6月8日から令和9年度総会の日まで

3 役員

区分	役 員		（参考）R7役員	
	団 体 名	氏 名	団 体 名	氏 名
会 長	岩手大学	学 長 山本 欣郎	岩手大学	学 長 小川 智
副 会 長	岩手県商工会議所連合会	会 長 谷村 邦久	岩手県商工会議所連合会	会 長 谷村 邦久
	岩手県消費者団体連絡協議会	会 長 川村 元	岩手県消費者団体連絡協議会	会 長 川村 元

事業者部会及び家庭部会における一斉行動

令和8年度「できることから ECO アクション！」表彰について

温暖化防止いわて県民会議

1 「できることから ECO アクション！」について

温暖化防止いわて県民会議の一斉行動として、脱炭素に資する取組を促す呼び掛けを展開している。事業所における地球温暖化防止への取組を報告していただき、その中から特に優れた取組について、次のとおり表彰を行うもの。

① 脱炭素経営大賞：県内をリードする模範的な事業所や総合的に優れた取組を実施した事業所

② 会長特別賞：会長が特別に優れていると認めた事業所

③ ECO アクション賞（部門賞）：特定の分野において特筆すべき取組を行った事業所

2 受賞事業者について

(1) 脱炭素経営大賞

事業者名	所在地	所属団体	備考
株式会社ミチノク	奥州市		
株式会社エヌエスオカムラ	釜石市	一般社団法人岩手県工業クラブ	

(2) 会長特別賞

事業者名	所在地	所属団体	備考
トヨタ自動車東日本株式会社 岩手工場	金ケ崎町	岩手県環境保全連絡協議会	

(3) ECO アクション賞（部門賞）

事業者名	所在地	所属団体	部門
株式会社事務機商事	盛岡市	岩手県中小企業団体中央会 一般社団法人岩手県経営者協会 岩手県中小企業家同友会	人材育成・意識啓発
丹内建設株式会社	滝沢市	一般社団法人岩手県産業資源循環協会	自動車対策
株式会社アイオー精密	花巻市	岩手県商工会議所連合会 一般社団法人岩手経済同友会 一般社団法人岩手県経営者協会 一般社団法人岩手県工業クラブ	省エネ・再エネ設備等導入
株式会社田澤洋紙店	盛岡市		技術開発・製品化
いわて生活協同組合	滝沢市	岩手県生活協同組合連合会	吸収源対策

3 取組内容

(1) 脱炭素経営大賞

株式会社ミチノク

ア 業種：サービス業（他に分類されないもの）

従業員：152 名

イ 主な取組内容：

(ア) 人材育成・意識啓発

- ・ 社内で資格支援制度を実施。
環境省認定制度脱炭素アドバイザー（GX 検定） ベーシック資格取得 12 名 アドバンスト資格取得 1 名
- ・ 上記資格取得者による社内 GX セミナーの開催。
- ・ 毎月エネルギー使用量（電気・ガス・ガソリン燃料等）をシステムへ入力し、使用状況の見える化を実施。
- ・ 社内の SDGs 活動可視化。意識向上のため、act coin を導入。

(イ) 自動車対策

- ・ GX セミナー・社内報紙にてエコドライブを推奨・周知。
- ・ 社用車を 4 台ハイブリッド車に交換。
- ・ ルート回訪効率向上（前年比 1058L の燃料削減）。

(ウ) 省エネ・再エネ設備導入

- ・ 玄関付近、外トイレ前の照明を人感センサーに変更。
- ・ 事務所・倉庫の照明を LED 化。
- ・ 自販機サービス工場の石油ストーブを廃止。エアコンの設置（前年比 28% の燃料削減）。

(エ) 技術開発・製品化

- ・ 本社 2 階窓ガラスの二重サッシ化及び遮断熱ガラスへの交換、自販機サービス工場の窓へ遮断熱コーティング加工、及び屋根には遮熱シートを施工。冷暖房効率が改善した。
- ・ 本社及び盛岡支店事務所の屋根に太陽光発電設備を設置。発電した電気は本社・盛岡支店にて使用。

(オ) 吸収源対策

- ・ CO₂吸収剤を搭載した「CO₂を食べる自販機」の設置拡大。
2025 年までの設置台数は 500 台、年間 30t の CO₂排出量の削減効果（1 台当たり年間 60 kg の CO₂を吸収）。
- ・ 2022 年 岩手県 J クレジット 10 t 購入。
- ・ 年 2 回 NPO 法人桜ライン 311 様主催 桜の植樹活動へ参加。

(カ) その他

- ・ 2025 年 4 月「いわて地球環境にやさしい事業所」に認定。
- ・ 2024 年 8 月 岩手県奥州市とアサヒ飲料株式会社との「地球温暖化対策及び気候変動適応対策に係る連携協定」を締結。

株式会社エヌエスオカムラ

ア 所属団体：一般社団法人岩手県工業クラブ

イ 業種：製造業 従業員：142 名

ウ 主な取組内容：

(ア) 人材育成・意識啓発

- ・ 毎月、原材料・エネルギー・産廃処理等について使用実績・原単位・達成度を見える化し、評価分析・フォローを実施。
- ・ 生産性向上・省エネに関する提案・活動に対する社員の表彰。
- ・ 省エネ管理ポイントを掲示し（運転時間、設定温度、管理項目等）、省エネ運転・空運転防止等の意識付けを図っている。

(イ) 自動車対策

- ・ 配送車両の待機時間を計測。効率輸送、アイドリング削減を図っている。
- ・ 物流輸送（製品出荷）効率化推進。
- ・ エコドライブ・アイドリングストップについて周知。

(ウ) 省エネ・再エネ設備導入

- ・ 工場使用電力 全量再エネ電気を使用。
- ・ 塗装前処理工程で温度設定の見直し等を行い、ボイラーガスの使用量を削減（削減効果 LPG 2420 m³/年）。
- ・ 塗装製品吊り密度、加工製品歩留まりを評価し、設備エネルギーを効率化。
- ・ 照明機器を省エネモードにして電力使用量を削減している（削減効果 13,100kwh/年）。

(エ) 技術開発・製品化

- ・ 製品開発における、グリーン購入法対象製品の開発。

(オ) 吸収源対策

- ・ 年1回 オカムラグループ SDGs 研修参加（リサイクル・省エネ・ゴミ問題）（14 名参加）。
- ・ コピー用紙は、グリーン購入商品を使用。
- ・ 歩留まりを考慮し、ダンボール加工製作における廃ダンボールの抑制。

(カ) その他

- ・ ノー残業デーの実施、WEB 会議の推進。
- ・ 東北電力主催 DR（使用電力の抑制）への参加。

(2) 会長特別賞

トヨタ自動車東日本株式会社 岩手工場

ア 所属団体：岩手県環境保全連絡協議会

イ 業種：製造業 従業員：7000 名

ウ 主な取組内容：

(ア) 人材育成・意識啓発

- ・ エネルギー管理士および特別産業廃棄物管理責任者の資格取得の促進。
- ・ エコ検定等の資格取得促進。
- ・ 月一度、環境会議を開催し、工場長以下職制と環境推進者に意識向上の呼びかけを実施。

(イ) 自動車対策

- ・ エコドライブの呼びかけをモニターや掲示板で周知。
- ・ 社用車をより燃費の良い HV 車・PHEV へ順次更新。

(ウ) 省エネ・再エネ設備導入

- ・ ムダの見える化を実施。(非稼働エネルギーの低減、エアー漏れの削減、エネルギー使用量見える化)。
- ・ 排熱の有効活用 (コ・ジェネ)。
- ・ LED 化の推進。
- ・ 再生可能エネルギーの導入 (再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)。
- ・ 太陽光発電の増設。

(エ) 技術開発・製品化

- ・ 内製小型ロボットの開発・導入 (小型化することで CO2 排出量の低減)。
- ・ からくりを駆使し治具を内製で製作。

(オ) 吸収源対策

- ・ 工場緑地帯にどんぐりを育成。
- ・ 雪山を造成し雪解け水を夏場の冷房に活用 (CO2 排出量の低減)。
- ・ 工場内緑化の促進。

(カ) その他

- ・ 在宅勤務推奨、WEB 会議推進による移動に伴う CO2 低減。
- ・ 廃棄物の分別を徹底し再資源化向上。
- ・ フードドライブ推進。

(3) ECO アクション賞 (部門賞)

① 人材育成・意識啓発部門

株式会社事務機商事

ア 所属団体：岩手県中小企業団体中央会、一般社団法人岩手県経営者協会、岩手県中小企業家同友会

イ 業種：卸売業、小売業 従業員：15 名

ウ 主な取組内容：

人材育成・意識啓発に係る取組

- ・エコ検定 15 名中 14 名合格。新入社員エコ検定受験予定。
- ・新たな取組として SDGs 検定受験。2024 年 1 名合格。2025 年 2 名合格。
- ・社内、環境学習会実施 (年 5 回) 社員当番制で環境動画アップ)。

② 自動車対策部門

丹内建設株式会社

ア 所属団体：一般社団法人岩手県産業資源循環協会

イ 業種：建設業 従業員：50 名

ウ 主な取組内容：

自動車対策に係る取組

- ・太陽光パネル設置、これによる EV 車等の充電。
- ・「ささえる NAVI」、ドラレコによる運転状況の監視。

③ 省エネ・再エネ設備等導入部門

株式会社アイオー精密

ア 所属団体： 岩手県商工会議所連合会、一般社団法人岩手経済同友会、一般社団法人岩手県経営者協会、一般社団法人岩手県工業クラブ

イ 業種：製造業 従業員：542 名

ウ 主な取組内容

省エネ・再エネ設備等導入に係る取組

- ・複数工場での太陽光パネルの設置。
- ・再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力の取入れ。
- ・独自の廃液処理装置で廃液を再生水に転換し再利用。

④ 技術開発・製品化部門

株式会社田澤洋紙店

ア 業種：卸売業、小売業 従業員：18 名

イ 主な取組内容

技術開発・製品化に係る取組

- ・仙台七夕まつりで使用した七夕祭りの吹き流しを再利用したメモ帳制作。
- ・紙を断裁時に廃棄される部分を再利用して商品化。

⑤ 吸収源対策部門

いわて生活協同組合

ア 所属団体：岩手県生活協同組合連合会

イ 業種：卸売業、小売業 従業員：2178 名

ウ 主な取組内容

吸収源対策に係る取組

- ・コープの森くずまき等で地域組合員や地元森林組合、関係者と一緒に植樹や下草刈りを実施。
- ・「コープの森づくり基金」として、組合員のからの募金やリサイクル活動からの収益金やお取引先様との協賛企画による募金でコープの森くずまき等の活動を運営。

脱炭素社会の実現に向けて — 自販機事業における脱炭素アクション



株式会社ミチノク

2026年6月8日

株式会社ミチノク

I事業内容

自販機オペレーション事業

- ・自動販売機設置先の開拓
- ・商品補充、空容器回収



自販機移設・メンテナンス事業

- ・自動販売機の設置・引上・交換、整備、修理



株式会社ミチノク

I事業所

■所在地

本社：岩手県奥州市水沢工業団地三丁目 8 4 番地

青森県：八戸支店

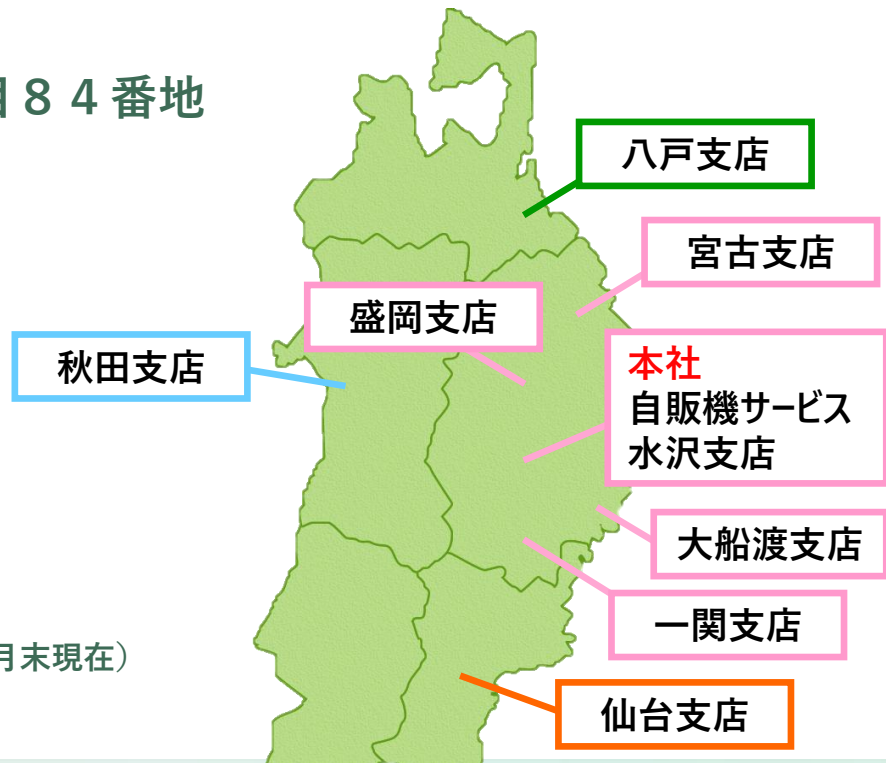
岩手県：本社・自販機サービス
水沢支店・盛岡支店・宮古支店
一関支店・大船渡支店

秋田県：秋田支店

宮城県：仙台支店

■社員数 約 1 5 0 人

■自販機保有台数 8,457 台 (2026年4月末現在)



株式会社ミチノク

I沿革

1979

「みちのく総業株式会社」として現在の岩手県奥州市に設立

1990

「株式会社ミチノク」に社名変更

2010

アサヒカルピスビバレッジ100 %子会社化（2013 年アサヒ飲料 100 %子会社）

2020

SDGsプロジェクト発足

2023

ダイードリンク株式会社とアサヒ飲料株式会社との共同株式移転により
ダイナミックベンディングネットワーク株式会社が設立され、同社の傘下となる

株式会社三チノク

I経営理念

わが社は、
地域社会の豊かで健康的な生活の実現に貢献するために、
飲料自動販売機事業の分野で、
真心のこもった価値あるサービスの提供を通じて、
いちばん信頼され、発展し続ける企業を目指します。

2020年SDGsプロジェクトを発足

社員が主体となりSDGsプロジェクトを始動

「5つの約束」を軸に持続可能な未来への取り組みを推進しています



『ミライツクル ～人と環境の未来を創る～』



【SDGsプロジェクト】環境への取り組み

環境美化活動

御所湖の清流を守る会様主催
御所湖周辺統一清掃



国立公園クリーン作戦
(in浄土ヶ浜)



胆沢ダム水源地域活性化協議会様主催
水源地域保全活動
桜の回廊の環境づくり



各支店周辺の清掃活動を
定期的に実施



自動販売機による寄付支援

日本農業遺産「東稲山麓地域」寄付金寄贈

売上げの一部が東稲山麓地域農業遺産推進協議会様へ
寄付される社会貢献型自動販売機を、奥州市役所本庁舎、
奥州市前沢総合支所、平泉町役場へ設置。
令和6年度分の寄付として2025年3月24日寄付金の贈呈
を行った。寄付金は農業遺産の維持・保全に活用される。

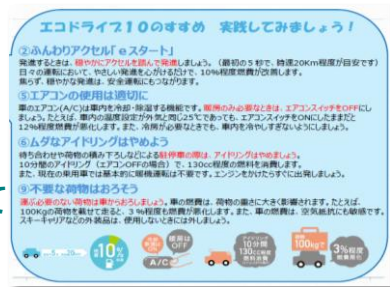
※東稲山麓地域は岩手県一関市、奥州市、平泉町の境界に
位置し、2023年1月日本農業遺産として認定された



訪問ルート効率化・エコドライブの推奨

リアルタイム売上データを基に訪問
ルートの最適化を実施し、業務効率
の向上と走行距離短縮による燃料
消費削減を推進。

また、GXセミナーや社内報を活用して
エコドライブの啓発を行い、全社的な
環境意識の醸成に取り組んでいる。



仮想通貨活用によるSDGs推進施策

社内のSDGs活動を可視化し、社員一人一人のSDGs活動への意識向上を図るためactcoin※を活用したポイント付与制度を導入

※actcoinとは、社会貢献活動を独自のデジタルコイン（ポイント）で可視化・価値化するアプリサービス

年間獲得コイン数に応じて社員表彰を行うとともに、2025年は3団体へ、2026年は1団体へ寄付

【2025年寄付先3団体】

- ・NPO法人未来図書館様 ……岩手の子ども達のキャリア教育支援を行うNPO法人
- ・三陸ブルーラインプロジェクト様 ……岩手県大船渡市を中心に地域創生と東日本大震災の教訓を語り継ぐ防災教育をテーマにした防潮堤アートやワークショップなどを展開
- ・みんなの家様 ……岩手県奥州市水沢南地区で子ども食堂などを通じて地域の居場所作りを行っている団体

【2026年寄付先1団体】

- ・NPO法人 YOUTH SDGs SIP様 ……高校生が運営するNPO法人。SDGs達成のため、学習支援・イベント・講演会などを行っている



2025年寄贈式



2026年寄贈式



社員表彰式



当社の環境ビジョン

持続可能な未来のために、私たちは3つの柱を軸に環境課題に取り組んでいます



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」の普及を通じて、
事業活動全体の脱炭素化に
貢献し続ける



省エネルギー推進

エネルギー効率の最大化を通じて、
事業活動の環境負荷を低減



資源循環の促進

廃棄物の削減とリサイクル率の向上で、
循環型社会の実現に貢献



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」設置の拡大



資源循環の促進

「CO₂を食べる自販機」とは？

- ・アサヒ飲料(株)が開発した自動販売機庫内にCO₂を吸収する特殊材を搭載
- ・1台当たりのCO₂年間吸収量はCO₂排出量の最大20%※
スギ(林齢56-60年)に置き換えると約20本分の年間吸収量に相当する
※稼働電力由来のCO₂排出量に対して
- ・CO₂吸収済み吸収材をタイルやアスファルト、サンゴ保全等へ再利用するCO₂資源循環事業を開始している

特許第7282338号



2026年4月末現在

設置台数：681台
(内岩手県内設置台数：248台)

※1台当たり年間最大60kgのCO₂を吸収

《CO₂吸収済み吸収材の再利用例》

コンクリートへの活用



コンクリートブロック



コンクリート床

廃棄物を混ぜてアップサイクルタイルに



ブレイン
吸収材のみ



コーヒー+吸収材



緑茶+吸収材

※写真はイメージです。
本来廃棄される予定の製品や素材に新たな価値を与えて再生する取り組み

サンゴ保全への活用



樹脂コンパウンドへの活用



吸収材配合
リサイクルPPペレット



様々な成形品に加工可能
PP:ポリプロピレン樹脂



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」設置の拡大



資源循環の促進

アサヒ飲料が目指す姿:CO₂資源循環モデル



自動販売機を起点にCO₂を資源として循環させ
循環型社会の構築を図る

実現のために

今、弊社が取り組むべきこと

「CO₂を食べる自販機」の
認知拡大・意識啓蒙

それが私たちの役割





CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」を通じた取り組み（岩手県）

岩手県庁様

「CO₂を食べる自販機」設置



岩手県地球温暖化防止活動推進センター様

「CO₂を食べる自販機」展示設置



小学生向け環境授業開催

NPO法人環境パートナーシップいわて様×東京海上日動火災保険(株)様
×NPO法人未来図書館様×アサヒ飲料(株)×(株)ミチノク 共同開催



『環境×しごと』～サステナブルカフェ～参加

企画・実施：温暖化防止いわて県民会議
若者ワーキンググループ



いわてカーボンフリー・アクション様との連携

（ペットボトルキャップを協賛しワークショップにて活用）

盛岡マエガタイオンクリスマスマーケットイベント 奥州市開催 SDGs商店街



私たちはICFAの活動を応援しています



× 株式会社ミチノク

株式会社ミチノク



CO₂排出量削減

「CO₂を食べる自販機」を通じた取り組み（奥州市）

2024年8月29日

奥州市・アサヒ飲料株式会社・株式会社ミチノク

「地球温暖化対策及び気候変動適応対策に係る連携協定」締結



本協定に基づき、3者が連携し環境省が推進する地球温暖化の「緩和（温室効果ガスの排出削減対策）」および「適応（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）」に関する取組を推進しています

2025年6月3日

「みんなで防ごう！熱中症！」ステッカー車両出発式



2025年12月20日

NPO法人 YOUTH SDGs SIP主催／共催 奥州市
「SDGs商店街」へ参加

- ・「CO₂を食べる自販機」展示設置
- ・お仕事体験会



株式会社ミチノク



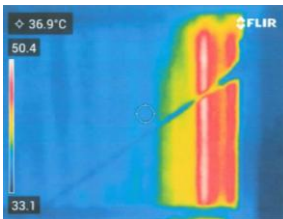
省エネルギー推進

守る・創る・減らす — 3つのエネルギー施策 —

エネルギーを
守る

-17°C 屋根・窓の遮断熱強化

本社 2 階窓ガラスの**二重サッシ化**及び**遮断熱ガラスへの交換**
自販機サービス工場の窓へ**遮断熱コーティング加工**
自販機サービス工場の**屋根に遮熱シート**を施工
(塗装ブース夏場40°C超→温度上昇を抑制)



2025年7月16日
気温32°C晴天
測定箇所 塗装ブース天井
未施工部：50.4°C
施工済み部：33.1°C
未施工比-17.3°C
遮熱対策への高い効果



冷暖房効率改善・働く環境改善

遮熱シートおよび二重サッシの導入により空調効率が大きく改善
エアコン使用頻度の削減と働く環境の質向上を同時に達成

エネルギーを
創る

太陽光パネルの設置

41%

本社及び盛岡支店に太陽
光発電設備を設置
電力使用量の**41%を**
再生可能エネルギーで充当



エネルギーを
減らす

LED照明への切替

27%

全拠点LED化と太陽光発
電の併用で電力使用量を
年間**27%削減**





省エネルギー推進

資格取得で広がるGXアクション

資格取得

資格支援制度にて環境省認定制度 脱炭素アドバイザー（GX検定）の受検を推奨し、**GX検定 ベーシック 1 2 名、GX検定 アドバンスト 1 名**が資格を取得

社内普及

脱炭素アドバイザー資格を持つ社員による**社内GXセミナーを開催**
社内全体のGXに関する意識と知識の向上を図る

社外普及

小学生向け環境講座
社外向けGXセミナーを開催

小学生向け環境講座

東京海上日動火災保険株式会社様
やNPO法人未来図書館様との協働
により、次世代を担う子どもたちへ向け
た環境学習講座を開催した



社外向けGXセミナー

ニッコー・ファインメック株式会社様へ
CO2を食べる自販機を設置させてい
ただくとともに、GXセミナーの開催も
行った



株式会社ミチノク

持続可能な未来へ

今後も「CO₂を食べる自販機」の普及を通じ
環境価値と社会的価値の両立を図りながら
地域に根差した脱炭素アクションを推進してまいります



ご清聴ありがとうございました

株式会社ミチノク

The background of the entire slide is a photograph showing several hands of different skin tones reaching up to touch or hold a small, realistic-looking globe of the Earth. The globe is positioned in the center, showing blue oceans and green landmasses. The hands are spread out around the globe, symbolizing global unity and care for the planet.

人を想い、場を創る。

OKamura

資料 No. 2 - 3

脱炭素化に向けた取り組みについて

2026年6月8日

株式会社エヌエスオカムラ

会社紹介

人を想い、場を創る。
OKAMURA

会社名	株式会社エヌエスオカムラ
所在地	岩手県釜石市鈴子町
設 立	1991年(平成3年) 設立後34年
株 主	(株)オカムラ、日本製鉄(株)
(社名由来)	日本製鉄(Nippon Steel) + オカムラ
売上高	約30億円
事業内容	スチール製オフィス家具製造
従業員	146名



オカムラの主な事業と当社の生産製品

人を想い、場を創る。
OKAMURA

オカムラの主な事業 オフィス事業



オフィス・共創スペース



自治体庁舎・窓口/ロビー



ヘルスケア・ロビー/待ち合い

商環境事業



スーパーマーケット・システム陳列什器



スーパーマーケット・冷凍冷蔵ショーケース



ドラッグストア・システム陳列什器

物流システム事業



多段式独立水平回転棚・ロータリーラック



自動倉庫・ロボットストレージシステム



パワートレーン事業

流体変速機・除雪車用トランスミッション

当社の生産製品

デスク



作業台



ラック



書架



電動モーターラック Sonicsaver + G

電動移動棚

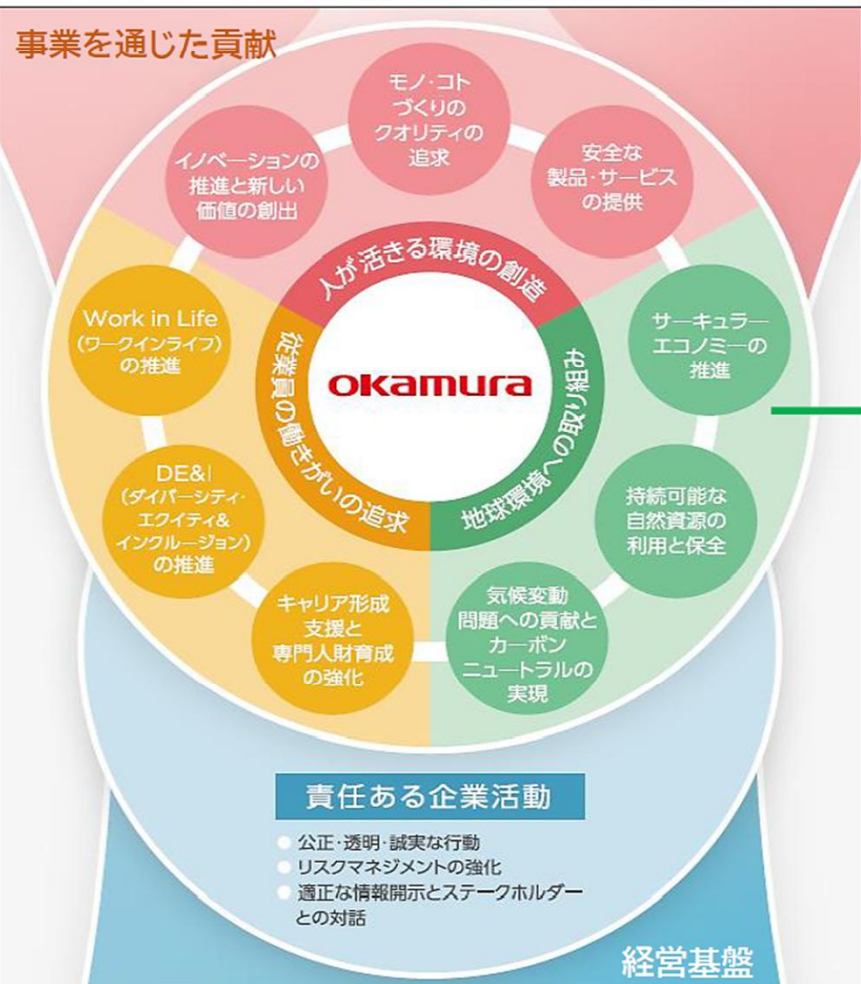


環境方針・目標

人を想い、場を創る。
OKAMURA

オカムラグループ環境方針に基づき、環境重点業務目標を設定し取り組みを展開

オカムラグループのマテリアリティ(経営の重要課題)



オカムラグループ環境方針

環境基本方針

オカムラグループはGREEN(環境配慮)のWAVE(波)を自ら起こしその波に乗るという「GREEN WAVE」の考えの下に、すべての事業活動で経営資源(人・設備・材料・技術)を活用して環境負荷低減活動を実践します。さらに、その成果をステークホルダーの皆様に提供することで「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

環境行動指針

1. オカムラの実践

オカムラは、ものづくりとコミュニケーションを通じて環境負荷の低減を推進します。

● 重点項目

- ・ものづくりでの環境保全活動
開発・製造・販売・物流のそれぞれの分野を通じて環境保全活動を実践します。
- ・社会に広げる環境活動
事業や従業員の活動を通じて、地域・社会とのコミュニケーションを拡大し、相互理解を深めます。
(主な活動項目:地球温暖化防止、省資源・廃棄物削減、生物多様性保全)

2. オカムラの提案

オカムラは、事業活動を通じて、お客様の環境負荷の低減のお手伝いをします。

● 重点項目

- ・製品の提案
お客様が満足できる、環境に配慮した製品を提供します。
- ・空間の提案
環境負荷を低減できる空間をプランニングします。
(主な活動項目:環境配慮製品・空間プランニング、製品情報開示、製品リスク対策)

【エヌエスオカムラ 環境重点業務目標】

- ・エネルギー原単位(前年度比) 1.1%改善
- ・CO2削減 対前年度 $\nabla 1\%$ '30年度目標: $\nabla 50\%$ ('20年度比)
- ・生産廃棄物削減 排出量原単位 前年度比 $\nabla 1\%$
- ・物流改善・物流2024年問題への対応
- ・環境に配慮した製品・梱包材の提案
- ・環境事故0

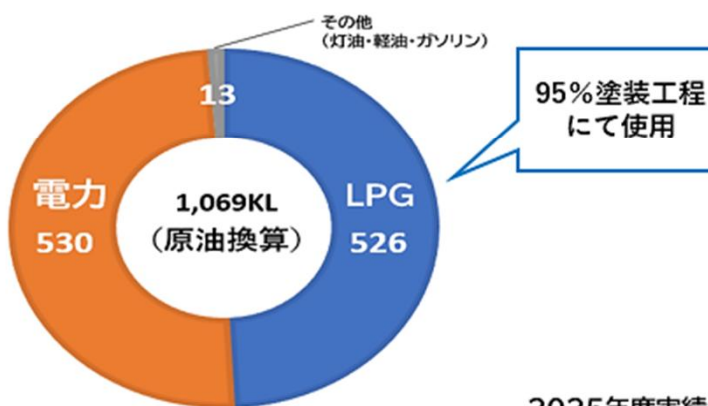
再生エネルギーの導入

オカムラグループ目標；2030年度 温室効果ガス排出量 50%削減（2020年度比）に向け、2023年度より再生エネルギー電気を導入 工場電力再エネ率 100%を継続している

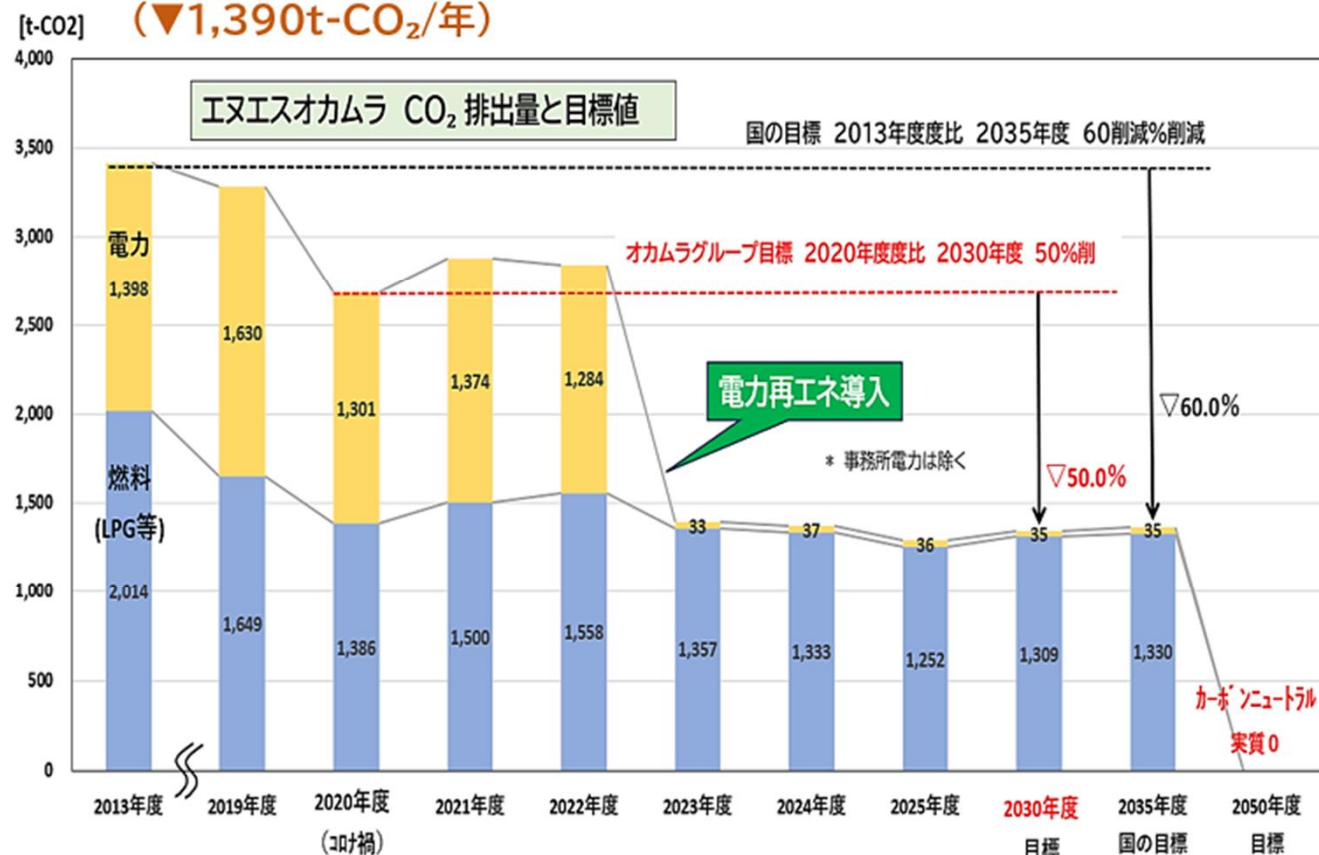
環境長期ビジョン 「GREEN WAVE 2030」

「GREEN WAVE 2030」においては、温室効果ガス排出量削減などの気候変動への対応や、水資源使用量の削減、生産プロセスにおける生産系廃棄物の排出量原単位削減などについて定量目標を設定しています。製品の開発や販売段階における環境負荷低減などの定性目標を設定し、2030年度の達成に向け活動を推進しています。

エネルギー使用量の割合



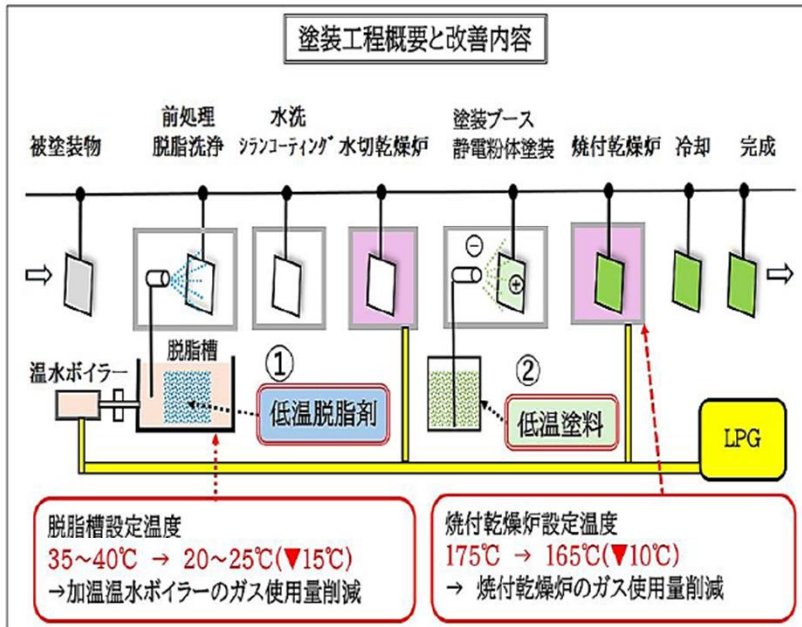
2023年度～再生エネルギー電気を導入開始(東北電力よりそう再エネ) (▼1,390t-CO₂/年)



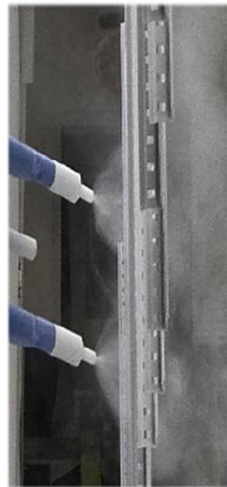
省エネルギー対策

①塗装工程におけるプロセス変更

塗装工程の前処理洗浄の脱脂剤と粉体塗料を低温仕様に改良変更。洗浄槽温水ボイラー及び塗料焼付乾燥炉の設定温度を下げることで、ガス使用量を削減した



静電粉体塗装



▼27t-CO₂/年

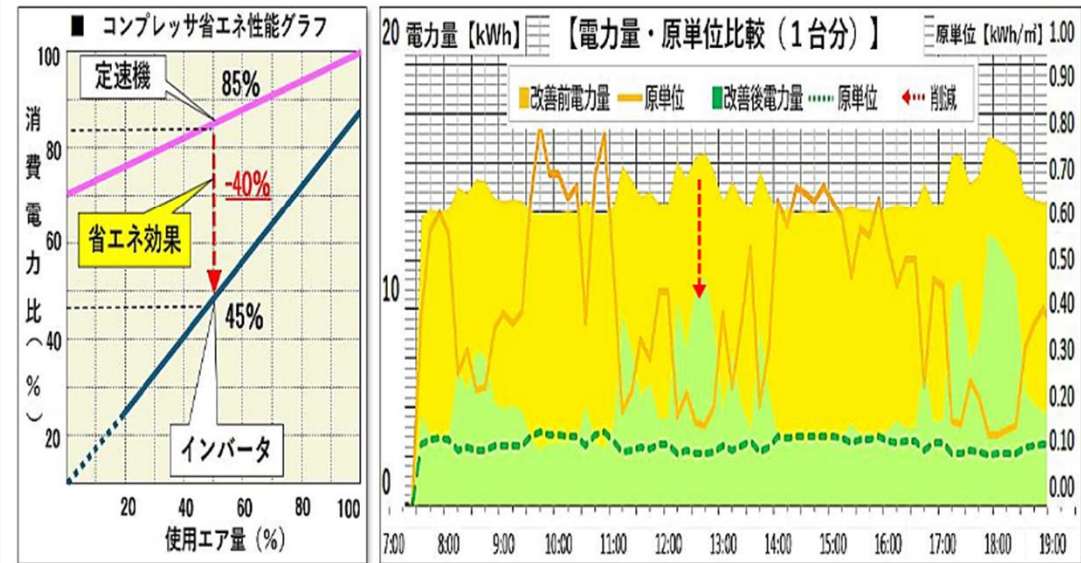
【改善のポイント】

当初、既存の低温脱脂剤や低温塗料では品質基準がクリアできなかった。
最終的にメーカーと共同で新たな低温剤を開発し試験と改良を重ね、運用することができた。

投資額:0(円)
削減ガス量:12,671(m³/年)
効果金額:3,347(千円/年)

②インバータコンプレッサの導入

高効率のインバータコンプレッサ(4台)に更新することで消費電力を削減した
(先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金活用)



【改善のポイント】

事前のエア使用量測定・検証、又、省エネ機器の導入のみでなく、その後も設備と連動した自動電源操作、低圧運転モード使用、吐出圧力設定見直し、圧損対策等を行い更なる効果を得た。

投資額:5,480(千円)(補助金活用)
削減電力量:111,894(kWh/年)
効果金額:1,564(千円/年)

省エネルギー対策

③各設備の省エネ運転設定

省エネ運転モードへ設定し、更なる消費電力を削減した

LED照明器具(204台)



省エネ運転モード設定 20~25% 消費電力削減

チラー水冷装置(10台)



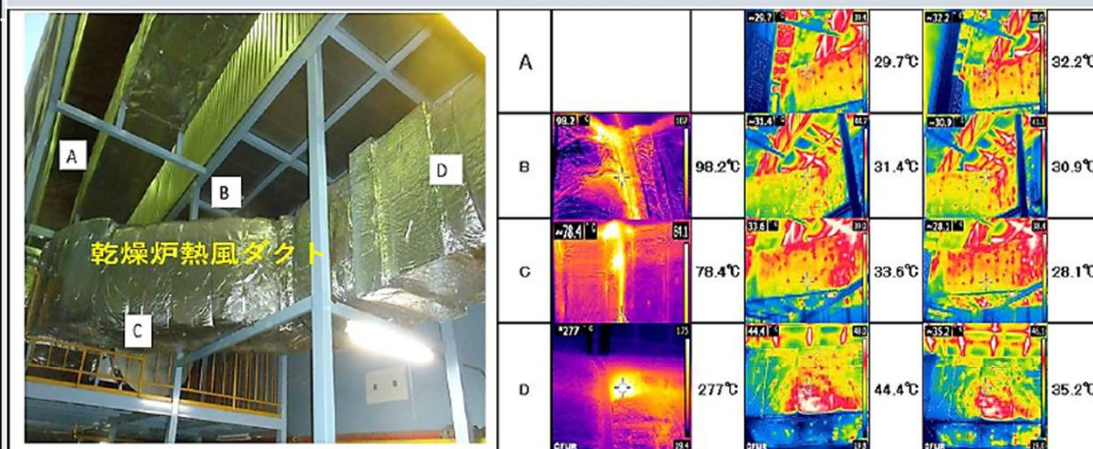
インバータコンプレッサ



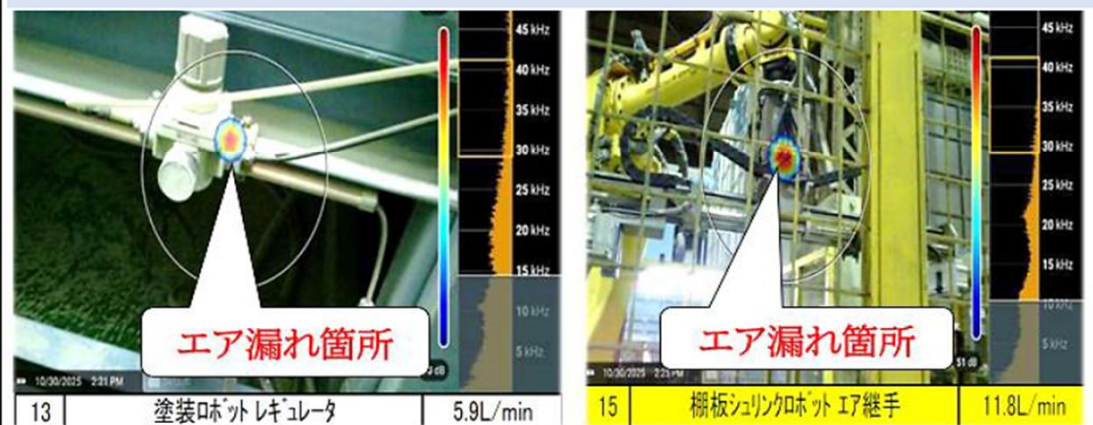
自動発停、低圧運転モード
設定により
5~10% 消費電力削減

④熱風ダクト、エアリーク測定監視

サーモビューによる熱風ダクト漏れ測定



超音波カメラによるエアリーク計測 *環境パートナーシップいわて



	省エネ管理基準ポイント	
	対象設備	接着ライン
運転形態 (設定温度・運転開始時間)	1) 乾燥炉温度(目安)/運転開始時間 ① 夏季(5~9月) 75℃ 7時点火 ② 冬季(10~4月) 80℃ 7時点火 2) ポストフォーム温度(目安)/運転開始時間 ① 夏季(5~9月) 40~50℃ 7時20分点火 ② 冬期(10~4月) 40~50℃ " 及びジェットヒーター	
保守点検	自主点検(1回/日) / 乾燥炉メーカー定期点検(1回/年)	
監視測定	ガス使用量/日、局所排気測定(1回/年) 壁面温度測定(1回/月)	
設備所管部門	製造部・工作課	

自動車・物流輸送対策

従業員へエコドライブの呼びかけや掲示

オカムラグループの物流輸送改善や配送車両の時間計測・分析等を行い、運行効率・待機時間の削減を図っている

周知・掲示

エコドライブ 10 のすすめ

加減速の少ない運転
車間距離は余裕を持って交通安全に応じた安全な定速走行に努めましょう

アイドリングストップ
無用のアイドリングをやめましょう

タイヤの空気圧をこまめにチェック
タイヤの空気圧を適正に保つなど、健全な点検・整備を実施しましょう

ふんわりアクセル『eスタート』
やさしい発進を心がけましょう

早めのアクセルオフ
エンジンブレーキを積極的に使いましょう

暖気運転は適切に
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう

不要な荷物は積まずに走行
不要な荷物は積まないようにしましょう

エアコンの使用を抑えめに
車内を冷やしすぎないようにしましょう

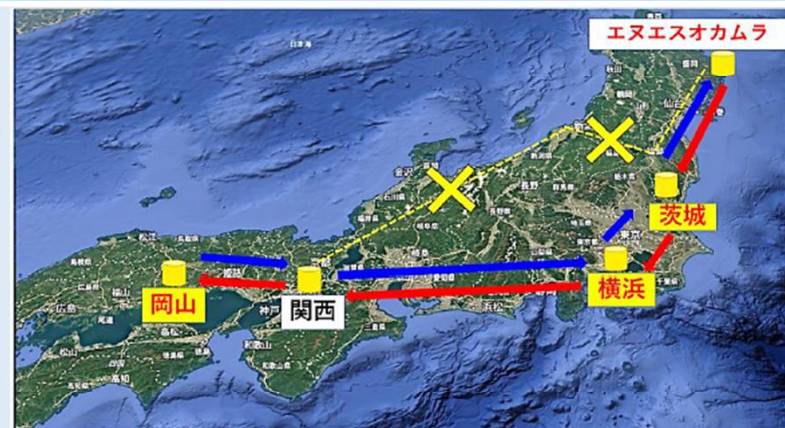
道路交通情報の活用
出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう

駐車場所に注意
渋滞などをまわくことから、違法駐車はやめましょう

トラック輸送効率の向上

オカムラグループ全体で物流改善に取り組み
単独輸送経路から各拠点の定期運行便への
見直し・輸送効率の向上を図っている
(ドライバー不足にも対応)

▼ 34t-CO₂/年



トラック待機時間削減

入退タブレット

時刻 2026年5月25日 16:36:56 クリア

運送会社

車番(ナンバー)

ライフジャケット有無 ☒ あり ☐ なし

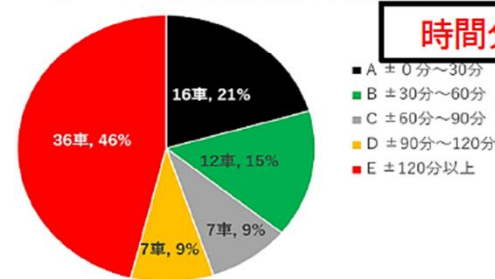
入場時刻

入場 出発

配送車両の待機時間を計測し分析を行い、運行効率・待機時間の削減を図っている

物流2024年問題 待機時間の削減(2h以内=入場~退場)

4月 78車 トラック指定時間の入場差異 分析



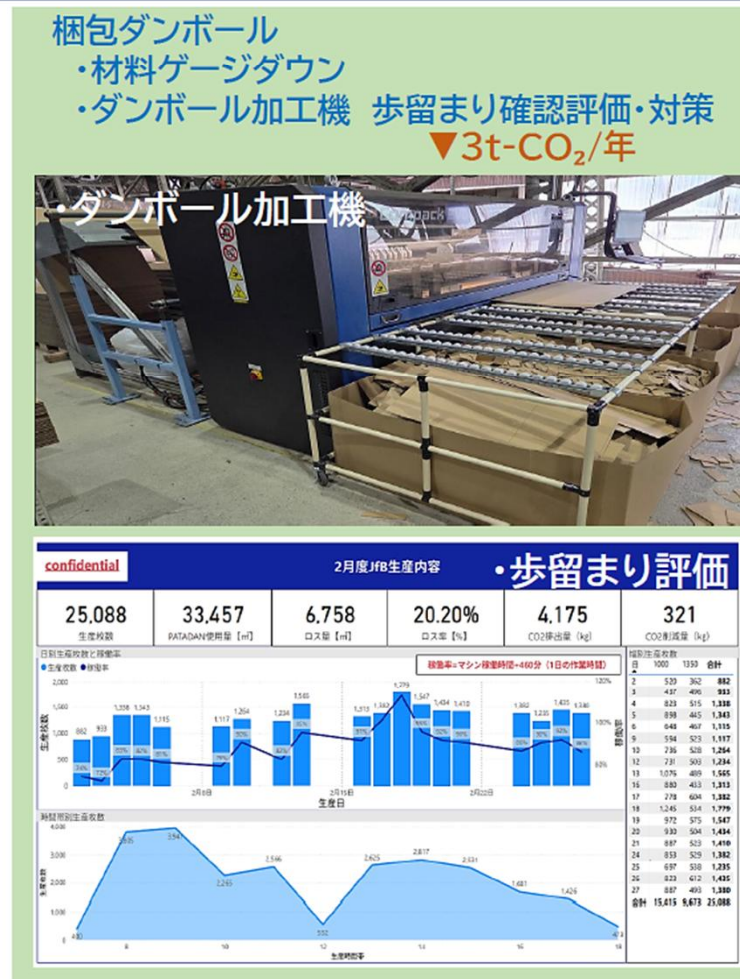
分析E: ±120分以上の差異が、4月全体の46%を占めている事がわかり、スケジュール/業務も圧迫している事がわかる。

① 運送業者指定時刻	② 入場時刻 (ドライバー入力)
2026/4/2 9:00	2026/3/30 8:11
2026/4/2 11:00	2026/3/30 8:15
2026/4/2 13:00	2026/3/30 9:24
2026/4/2 14:00	2026/4/2 8:23
2026/4/3 9:00	2026/4/2 14:13
2026/4/3 13:00	2026/4/3 8:03
2026/4/3 14:00	2026/4/3 10:12
2026/4/6 9:00	2026/4/3 10:35
2026/4/6 10:00	2026/4/3 14:32
2026/4/6 13:00	2026/4/6 8:14
2026/4/7 9:00	2026/4/6 13:54
2026/4/7 10:00	2026/4/7 9:57
2026/4/7 13:00	2026/4/7 14:12
2026/4/8 13:00	2026/4/8 8:20
2026/4/8 14:00	2026/4/8 10:09
2026/4/8 14:00	2026/4/8 10:18

分析 分析内容(指定時間差異)	4月
A ±0分~30分	16車
B ±30分~60分	12車
C ±60分~90分	7車
D ±90分~120分	7車
E ±120分以上	36車
	78車



オカムラグループは原材料部品の調達や製品開発において環境負荷低減に取り組んでいる
又、オカムラ独自の環境基準「**GREENWAVE(グリーンウェーブ)**」・「**GREEN WAVE+(グリーンウェーブプラス)**」を策定し環境配慮した製品の
拡充を図っている。当社でも、製品・部材・梱包樹脂材・ダンボール等において環境負荷の低減を行っている



環境保全整備活動・地域コミュニケーション

環境整備活動に積極的に参加

地域とのコミュニケーションも大切にし、モノづくりや当社の環境への取り組みなども紹介している

オカムラグループ ワークेशन型SDGS研修参加

「SDGs講習」、「森林保全研修」、「自然体験プログラム」に参加。
地産地消の食文化、人と森のつながり、海と山の関係などを学び ボランティア活動も行った



職場体験

板金加工、部品取り付けなど、モノづくりを体験



緑化整備活動参加・自主清掃活動

工場周辺・歩道



釜石鵜住居復興スタジアム



出前授業

市内中学、高校への出前授業で会社紹介や3DCAD操作を行った。



企業価値・社内モチベーション・人材獲得力の向上

積極的な取り組みによる成果は従業員の意識高揚、企業価値向上に繋がっている
又、当社では障害のある方の積極雇用や男女問わず働きやすく、活躍できる環境づくりに取り組んでいる

平成28年度
「省エネ大賞」受賞

令和7年度 東北地域 省エネルギー月間表彰式

主催：東北経済産業局 一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 東北七県電力活用推進委員会

「東北地域エネルギー管理優良工場」受賞



令和7年度「沿岸地域脱炭素化推進フォーラム」に
パネリストとして参加



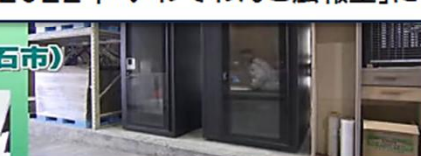
温室効果ガス削減に向けて

「いわて地球環境にやさしい事業所」認定企業

株式会社 エヌエスオカムラ(釜石市)



2022年「いわてわんこ広報室」にTV紹介



釜石市のオフィス家具メーカー
エヌエスオカムラは



令和7年度 岩手県障がい者雇用優良事業所等表彰式

主催：岩手県（物）産部・障害・労働者雇用支援機構 岩手支部



「いわて女性活躍認定企業等（ステップ1）」認定書

企業等の名称 株式会社エヌエスオカムラ

所在地 岩手県釜石市鈴子町 23 番 15 号



いわて女性活躍認定企業等認定制度要綱第6の規定により、
「いわて女性活躍認定企業等（ステップ1）」として認定します。

認定番号 第 2026-1-20 号

認定年月日 令和 8 年 2 月 4 日

有効期限 令和 11 年 2 月 3 日

岩手県知事 遠 増 拓 也





okamura

人を想い、場を創る

"Loving people, creating places"

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。
オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。

ありがとうございました

温暖化防止いわて県民会議 令和7年度活動計画

活動方針

岩手県地球温暖化対策実行計画では、2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比57%減としている。削減目標の達成に向けては、県民、事業者及び行政が一体となった県民運動を積極的に展開する必要がある。令和7年度は、脱炭素化推進のための基盤整備や、県民運動としての「いわてゼロ・カーボンプロジェクト2025」の展開に重点を置くほか、構成団体・企業等の主体的取組を活性化することにより脱炭素社会の実現を目指す。

温室効果ガス削減目標
2013年度 ➤ 2030年度

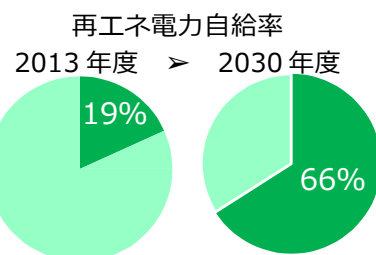
全体
基準年度
▲57%
目標年度

家庭部門
2,847千t
▲57%
1,222

産業部門
4,026千t
▲41%
2,387

業務部門
2,418千t
▲60%
971

運輸部門
2,368千t
▲32%
1,618



活動計画

1 家庭における省エネルギー化

- (1) ZEH など省エネ性能の高い住宅の普及促進
- (2) 家電等の購入や買替えにおける省エネ機器の選択促進
- (3) 脱炭素につながるライフスタイルへの転換促進



2 産業・業務における省エネルギー化

- (1) 脱炭素経営の普及促進
- (2) 事業者の優良事例の波及
- (3) 省エネ設備・機器等の導入促進



3 運輸における省エネルギー化

- (1) 電動車の普及促進
- (2) 公共交通機関等の利用促進
- (3) 再配達削減のための取組



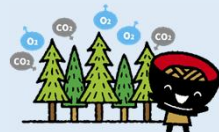
4 再生可能エネルギーの導入促進

- (1) 再生可能エネルギーの普及啓発、情報発信
- (2) エネルギーの地産地消に向けた再生可能エネルギーの導入促進



5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

- (1) 吸収源対策
- (2) 廃棄物対策等
- (3) 気候変動への適応



6 脱炭素化推進のための基盤整備

- (1) 脱炭素化に資する人材育成・確保
- (2) 県民会議構成団体のネットワーク強化



取組内容

- (1)
 - ・ 省エネ効果や健康、生活の質の向上に関する普及啓発
 - ・ ZEH 住宅補助や設備導入に関する補助の活用
- (2)
 - ・ 省エネ性能、省エネ効果やランニングコスト等の情報発信
 - ・ 国・市町村の家電等買替補助の活用
- (3)
 - ・ 若者世代（Z世代）と連携した情報発信
 - ・ いわてカーボンフリー・アクション（ICFA）
 - ・ 家庭のエコチェックへの参加促進

- (1)
 - ・ 脱炭素経営に取組むメリットの情報提供、普及啓発
 - ・ 「できることからECOアクション！」の取組
 - ・ 脱炭素化に係る各種認定制度取得
- (2)
 - ・ 脱炭素経営事例集の活用
 - ・ 各種媒体での情報発信
 - ・ 他団体・企業等の取組視察、勉強会参加
- (3)
 - ・ 国・県・市町村の省エネ設備等導入促進補助・融資制度の活用
 - ・ 省エネ診断や温室効果ガスの可視化ツールの活用

- (1)
 - ・ 電動車の性能や効果の情報発信
 - ・ E V 等導入に係る補助制度の活用
- (2)
 - ・ 公共交通機関と自動車の使い分け、自転車の積極利用
 - ・ エコドライブの実践
- (3)
 - ・ 宅配事業者との連携による「再配達削減プロジェクト」の実施

- (1)
 - ・ 市町村向け「再生可能エネルギー発電事業に係る地域裨益協定の手引」、事業者向け「陸上風力発電事業に係る環境影響評価ガイドライン」の普及
 - ・ 先進事例の共有
- (2)
 - ・ 再生可能エネルギー設備導入に係る補助制度の活用
 - ・ カーボンフリー電力の普及啓発、利活用

- (1)
 - ・ 各種吸収源対策に関する事例共有
 - ・ 森林資源、海洋資源等の保全
 - ・ クレジットの利活用
- (2)
 - ・ 3Rの定着のための情報発信
 - ・ 3Rの実践、ごみの分別の徹底、食品ロスの削減
- (3)
 - ・ 気候変動とその影響に関する情報共有
 - ・ 気候変動適応対策の実施
 - ・ 熱中症予防・対策

- (1)
 - ・ 脱炭素に係るセミナー等の実施
 - ・ 脱炭素アドバイザー等の資格取得
 - ・ 若者WGによる「人材育成・確保プロジェクト」の実施
- (2)
 - ・ 構成団体相互の情報共有
 - ・ 参画団体の拡充

1 家庭における省エネルギー化

(1) ZEH など省エネ性能の高い住宅の普及促進

■県民会議 ■岩手県

- ・いわてわんこ節電所における情報発信
WEBサイトページビュー数 31,323件 (R6: 90,326件)
いわてわんこ節電所ニュース (メールマガジン)
登録者数 6,644人 (R6: 6,820人)
新規登録者数 180人 (R6: 236人)

■構成団体・企業等

- ・【盛岡信用金庫】住宅ローン優遇金利による省エネ住宅の促進 (4/1-3/31)

■岩手県

- ・ZEH+水準を満たす住宅購入補助 10件 (R6: 7件)

■市町村

- ・【宮古市】住まいの省エネルギー改修推進事業費補助金 (補助実績2件)
- ・【雫石町】広報しずくいし6月号に、デコ活の周知案内記事を掲載 (5,000部発行)
- ・【金ケ崎町】住宅の省エネ改修に対する補助事業 (4/1-3/31)



(2)家電等の購入や買替えにおける省エネ機器の選択促進

■県民会議 ■岩手県

- ・いわてわんこ節電所での情報発信 再掲
- ・省エネ・節電キャンペーンによる行動変容の促進
参加件数 夏季: 364件 (R6: 138件)、冬季: 256件 (R6: 185件)

■構成団体・企業等

- ・【東北電力(株)岩手支店】いわて電化機器導入サポート企画 (※) ※エコキュートや高効率エアコンへの買替えを目的としたキャンペーン (10/1~12/26)

■市町村

- ・【宮古市】住宅省エネルギー推進補助金 (補助実績169件)、住宅の無料省エネ診断 (実績7件)、脱炭素フェスタ 補助金相談ブースの設置 (10/11)
- ・【金ケ崎町】省エネ家電への買換えに対する補助事業 (補助実績54件)
- ・【住田町】住田町省エネ家電購入促進事業 (2/16-3/31)
- ・【山田町】山田町エアコン設置支援事業補助金 (補助実績146件)
- ・省エネ機器買替補助 (宮古市、大船渡市、奥州市、遠野市、葛巻町、紫波町、金ケ崎町、平泉町、山田町、普代村、洋野町、野田村)

(3)脱炭素につながるライフスタイルへの転換促進

■県民会議 ■岩手県

- ・いわてわんこ節電所での情報発信 再掲
- ・夏季、冬季の省エネ・節電キャンペーンへの企業協賛 (五十音順)
(夏季: いわて生活協同組合、株式会社田清、株式会社ファーマンステーション、株式会社ベルジョイス、盛岡アロニア同盟
冬季: 株式会社アマタケ、岩手県庁、クラフトサークルおおつち・おおつちおばちゃんくらぶ、佐川急便株式会社、地球温暖化防止活動推進センター、盛岡市動物公園ZOOMO、盛岡じゃじゃ麺ちーたん、ヤマト運輸株式会社)
- ・家庭のエコチェックへの参加促進
参加者 13,783人 (R6: 10,960人)

■構成団体・企業等 ■岩手県

- ・【岩手大学、岩手県立大学、富士大学】県内大学生によるプロジェクトチーム「いわてカーボンフリー・アクション (ICFA)」による情報発信・行動変容の促進
動画制作・配信 12回 (R6: 9回)、高校生向け出前授業 1回、一般向けイベント等への出展 11回
マエガタイルミネーション「地産地消×シールラリー」企画・運営
イベント参加者: 延べ596名

■構成団体・企業等

- ・【岩手県生活協同組合連合会】生協会員へエコチェックへの参加促進、県生協連会報での、気候危機講演会の要旨の掲載と配布 (1,600部)、エシカル消費商品 (環境配慮商品、アイコップ商品、産直商品) の利用推進、エシカル消費商品の学習活動)
- ・【東北電力(株)岩手支店】電力料金プラン「水のちから いわてeでんき」 (※) のPRと加入拡大の取組※東北電力フロンティア社が提供する岩手の公営水力発電を利用したCO2フリー料金プラン、かまいしゼロカーボンフェスタへの出展
- ・【国立大学法人岩手大学】環境マネジメント学生委員会が県内他大学との共同プロジェクトチーム「いわてカーボンフリー・アクション (ICFA)」に参加し、動画制作など情報発信

■市町村

- ・【宮古市】脱炭素通信「Let's try!」の発行、脱炭素フェスタ 体験ブース (体験や制作を通じてエコや再エネ・省エネを学ぶ)

2 産業・業務における省エネルギー化

(1) 脱炭素経営の普及促進

■県民会議

- ・「できることからECOアクション！」への参加促進 R7年取組事業者数：149者（R6：96者）

■構成団体・企業等

- ・【東日本旅客鉄道株式会社】「夏季における省エネ・節電の取組について」内容の周知、「冬季の省エネルギーの取組について」内容周知、「できることからECOアクション！」率先参加
- ・【学校法人盛岡大学】クールビズ勤務及び節電の実施を従業員に周知
- ・【岩手県高等学校PTA連合会】文書類は極力メールで送受信するよう呼びかけ

■岩手県

- ・認定制度取得の働きかけ
認定事業所数：296事業所（R6：293事業所）



(2) 事業者の優良事例の波及

■県民会議・岩手県

- ・優良事例集の活用
県内事業者17社の優良事例をとりまとめた「岩手県脱炭素経営事例集」を配布して脱炭素経営を促進（R7年度末には3社追加）
- ・「いわて脱炭素経営カルテ」（地球温暖化対策計画書制度）の公表同意を得た事業者の計画書・届出書の任意公表
- ・いわてわんこ節電所での情報発信 再掲

■県民会議 ■構成団体・企業等

- ・令和7年度先進事例視察研修の実施（視察先：(株)ミクニ盛岡営業所、(株)ジャパンセミコンダクター岩手事業所）（2/13実施）

■構成団体・企業等

- ・【東北電力(株)岩手支店】ヒートポンプ等の普及に貢献された企業・団体等に対する表彰（毎年7月）、エネルギー管理優良工場等に対する表彰（毎年2月）
- ・【東日本旅客鉄道(株)】社内ESG優良取組の表彰実施
- ・【工業クラブ〔(株)エヌエスオカムラ〕】令和7年度エネルギー管理優良工場等東北経済産業局長表彰 受賞

■市町村

- ・【花巻市】省エネ・脱炭素への事業者の取組事例のHP及び広報はなまきへの掲載
- ・【矢巾町】矢巾町サステナブルアワード2025を実施し、温暖化対策の取組を行った事業者を表彰し、広報、HPで周知

(3) 省エネ設備・機器等の導入促進

■岩手県

- ・省エネ設備（空調・換気・照明・給湯）補助
補助実績 31件（R6：28件）
- ・再生可能エネルギー発電施設等立地促進資金貸付金
実績 2件（R6：1件）

■構成団体・企業等

- ・【岩手県中小企業団体中央会】事務所室内照明のLED化
- ・【岩手県生活協同組合連合会】店舗リニューアルに合わせた省エネ設備（冷凍ストッカー）導入、店舗設備入替時の省エネ空調、照明導入
- ・【東北電力(株)岩手支店】法人お客さまに対する各種ソリューションサービスのご紹介および提案（コーポレートPPA、GHG排出量可視化サービス除く）

- ・【東日本旅客鉄道(株)】駅コンコース照明LED化、高効率空調設備への取替（小型空調設備）
- ・【株式会社東北銀行】省エネ診断の紹介を通じて地域脱炭素化の推進
- ・【国立大学法人岩手大学】建物改修時に照明をLED化

■市町村

- ・【滝沢市】たきざわカーボンニュートラルチャレンジ
- ・【矢巾町】個人宅向け断熱改修補助金の交付
- ・【金ヶ崎町】公共施設のLED化
- ・省エネ設備補助（宮古市、紫波町、矢巾町）

3 運輸における省エネルギー化

(1) 電動車の普及促進

※ 電動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

■県民会議

- ・わんこ節電所を通じた電動車の省エネ性能や省エネ効果の情報発信 再掲

■構成団体・企業等

- ・【岩手県バス協会〔岩手県交通〕】EVバス出発セレモニー（滝沢、紫波）12/25
- ・【岩手県中小企業団体中央会】事務所車両のハイブリット車両購入
- ・【岩手県生活協同組合連合会】EV車入替時の小型化（普通車EV→軽EV）
- ・【国立大学法人岩手大学】公用車としてハイブリッド自動車を配置

■岩手県

- ・EV・PHVと太陽光発電設備等補助
補助実績 2件（R6：0件）
- ・EV・PHVタクシー、EVバス等補助
補助実績 バス4台（R6：バス4台）
- ・充電インフラ（急速充電器設置）補助
補助実績 11基（R6：6基）
- ・県公用車の電動車の導入 6台

■市町村

- ・【金ケ崎町】PHEV導入
- ・【山田町】町防災訓練において災害協定を締結している企業によるプラグインハイブリット車の展示

EVバス出発セレモニー



(2) 公共交通機関等の利用促進

■構成団体・企業等

- ・「公共交通スマートチャレンジ月間」実施期間：9/1～10/31
- ・【（公社）岩手県バス協会】バスの日まつりの開催及びバス利用普及啓発事業の実施、バス利用促進推進キャンペーン（盛岡市内バス運営協議会）
- ・【岩手県高等学校PTA連合会】出張や外部の会議出席に伴う移動は公共交通機関を利用するよう呼びかけ
- ・エコドライブに係る周知、実践

■市町村

- ・【宮古市】中学生フリー定期券実証事業、JR山田線定期券等購入費助成、ICカードチャージ時のポイント付与

(3) 再配達削減のための取組

■県民会議

- ・県民向けキャンペーン「再配達削減アイデアコンテストinIWATE」
R7/11/29～R8/2/15
- ・キャンペーンと連動した置き配グッズ制作WS

■構成団体・企業等

- ・「再配達削減プロジェクト」との連携 荷物取取扱場所拡大の取組
3団体（環境パートナーシップいわて、一関市金沢市民センター、一関市小梨市民センター）

■市町村

- ・【金ケ崎町】SNSで周知



4 再生可能エネルギーの導入促進

(1) 再生可能エネルギーの普及啓発、情報発信

■岩手県

- ・「再生可能エネルギー発電事業に係る地域裨益協定の手引」、「陸上風力発電事業に係る環境影響評価ガイドライン」の周知
- ・第13回地熱シンポジウムin岩手：10/20、日本地熱学会令和 7 年学術講演会（盛岡大会）：10/21～23

■岩手県 ■市町村

- ・県市町村GX推進会議での事例共有
実施日 5/23
- ・県市町村GX推進会議実務者会議での先進事例の横展開
全体：9/5、2月（書面開催）
テーマ別：11/14（自治体保有施設の脱炭素化）、1/15（吸収源対策及びクレジット制度）

■構成団体・企業等

- ・【岩手県生活協同組合連合会】再エネ100宣言 RE Acitonへの参加
- ・【東日本旅客鉄道(株)】八戸バイオマス発電所見学会を実施
- ・【盛岡信用金庫】はちまんたいジオパワー新電力切替顧客紹介

■市町村

- ・【宮古市】脱炭素フェスタの開催、脱炭素通信「Let's try!」の発行、補助金はじめてガイドの発行
- ・【花巻市】環境学習講座で再生可能エネルギー施設（水力発電所）見学を実施
- ・【北上市】北上市おひさまパワー活用設備設置費補助金（住宅用太陽光発電等導入事業）
- ・【八幡平市】地熱探検隊（市内小学校、高校）実施、出前講座（市内再生エネルギーについて）実施

(2) エネルギーの地産地消に向けた再生可能エネルギーの導入促進

■構成団体・企業等

- ・【岩手県生活協同組合連合会】太陽光パネル設置、再エネ電力調達
- ・【東北電力(株)岩手支店】法人顧客に対する自家消費型太陽光発電設備（オンサイトPPA）のご紹介・提案、岩手県産CO2フリーメニューの紹介・提案、あおぞらチャージサービス（※）の採用拡大に向けた取組※東北電力eソライフ社が提供する一般家庭向けPPAサービス
- ・【東日本旅客鉄道(株)】盛岡駅太陽光パネル設置、花巻愛宕太陽光発電所、平泉駅太陽光発電
- ・【(株)東北銀行】矢巾支店に屋根置き太陽光設備を子会社であるとうぎんリニューアル・エナジー株式会社にて設置し、支店への電力供給を開始

■岩手県

- ・市町村の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）計画策定への協力・支援（補助）
補助実績 6件（奥州市、二戸市、岩手町、住田町、山田町、西和賀町）
（R6：5件）
- ・市町村向け自立・分散型エネルギーシステム設計等支援（補助）
補助実績 3件（遠野市、軽米町、紫波町）（R6：3件）

- ・事業者向け自家消費型太陽光発電補助
補助実績 12件（R6：12件）

■市町村

- ・住宅用太陽光発電等導入補助（盛岡市、宮古市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、雫石町、葛巻町、紫波町、矢巾町、平泉町、山田町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、洋野町、九戸村、一戸町）
- ・事業者向け太陽光発電等導入補助（宮古市、久慈市、一関市、矢巾町、軽米町、洋野町）
- ・【宮古市】再エネ電力調達に係る補助金
- ・【雫石町】再生可能エネルギーの地域内需給にかかる研究会を開催

5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

(1)吸収源対策

■構成団体・企業等

- ・【東北電力(株)岩手支店】東北電力協賛イベント（親子ツアー・こずかた合唱祭）において、一関市市有林J-クレジットを購入し、CO2フリーイベントとして実施、かまいしゼロカーボンフェスタへの東北電力ブース出展において、釜石市ブルーカーボンクレジットを購入し、CO2フリーイベントとして実施
- ・【東日本旅客鉄道(株)】植林イベント（「一関ふるさとの森づくり」一関市摺沢）開催、植林イベント（「宮古市森づくり体験会」宮古市区界）開催
- ・【(株)東北銀行】フェイガー社と連携したJ-クレジットの創出支援(2025年に認証取得)
- ・【国立大学法人岩手大学】学内で使用するコピー用紙にグリーン購入商品を選定

■岩手県

- ・いわて木づかい住宅普及促進事業（県産木材を使用した住宅の新築・リフォーム支援）申請件数 新築46件、リフォーム3件（R6実績：新築72件、リフォーム3件）
- ・県有林のJ-クレジット化 R7年度販売実績（3/31時点）：57件

■岩手県 ■市町村

- ・県市町村GX推進会議実務者会議（テーマ：吸収源対策及びクレジット制度）1/15開催

■市町村

- ・【宮古市】県産材を活用した住宅、店舗等の新築・増築・リフォームに対する補助、木質バイオマスストーブの導入に対する補助、森林整備活動に対する補助、緑化活動の推進に対する補助、植林活動イベントの開催
- ・【八幡平市】株式会社バイウィルと連携したJ-クレジット（中干し期間延長）創出事業

(2)廃棄物対策等

■構成団体・企業等

- ・【岩手県中小企業団体中央会】資源回収等への資源物の提供
- ・【東北電力(株)岩手支店】リサイクル素材を使用したノベルティ制作
- ・【東日本旅客鉄道(株)】発生廃棄物の分別・選別の徹底によるリサイクル等の推進、鉄道古物・リサイクル品等の古物販売イベントの実施
- ・【国立大学法人岩手大学】ゴミの分別を行い、アルミ缶、ペットボトル、古紙等資源回収業者へ引き渡し、環境マネジメント学生委員会が花王株式会社と共催し、詰め替えパックを回収・リサイクルする「いわてリサイクリエーションプロジェクト」を企画実施

■岩手県

- ・3Rの定着のための情報発信
- ・エコ協力店いわて認定制度の周知・普及

- ・イオン東北(株)と連携した「環境月間3R啓発活動」の実施実施日 6/6-6/8
- ・イオン東北(株)と連携した「ご当地マイバスケッ」の制作、販売
- ・「いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクール」の実施と入賞作品の展示

■市町村

- ・【宮古市】4R（Refuse・Reduce・Reuse・Recycle）の促進について、市広報折込チラシにて周知・啓発
- ・【花巻市】3R定着のための情報発信（小学4年生の授業の一環として）、市HP、広報はなまきでの周知、市民を対象とした出前講座の実施
- ・【八幡平市】ごみの分別と減量に関する市民講座を開催
- ・【矢巾町】職員によるごみ分別出前講座（青空教室）

(3)気候変動への適応

■構成団体・企業等 ■県民会議 ■岩手県（気候変動適応センター）

- ・【盛岡地方気象台】いわて防災・気候講演会の開催（実施日 12/6）
- ・【岩手県生活協同組合連合会】「協同組合公開講座 テーマ「気候変動」」の開催（実施日 2/10）

■構成団体・企業等

- ・【岩手県生活協同組合連合会】熱中症予防・対策（クーリングシェルター）滝沢市と協定締結、協同組合講座において、「気候変動」をテーマに講演会開催（今年で4回目）
- ・【東日本旅客鉄道株式会社】熱中症対策として、水冷作業服・スマートウォッチ型体調管理デバイス・充電式クーラーボックスの導入
- ・【国立大学法人岩手大学】「複雑さの中でどう環境保全を進めればよいのか」をテーマに環境セミナーを開催

■岩手県（気候変動適応センター）

- ・国の専門機関や大学等との連携による、気候変動とその影響に関する情報の収集・提供
- ・熱中症予防・対策に係る普及啓発（大塚製薬(株)との連携）
- ・岩手県立大学での気候変動適応に関する講義の実施（1/21実施）

■市町村

- ・熱中症予防・対策のための情報発信（花巻市、岩泉町）
- ・「クーリングシェルター」等の設置による熱中症予防・対策（盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、釜石市、二戸市、奥州市、滝沢市、紫波町、矢巾町、平泉町、大槌町、山田町、岩泉町、軽米町、野田村、洋野町）
- ・【宮古市】市民講座等での熱中症予防と健康づくりに関する健康教育

6 脱炭素化推進のための基盤整備

(1) 脱炭素化に資する人材育成

■県民会議

- ・若者ワーキンググループの取組
脱炭素や環境配慮に積極的に取り組む企業の「人材育成・確保」のため、学生と企業を繋ぐマッチングイベント
「『環境×しごと』～サステナブルカフェ～」を企画・実施
県内団体・企業12社、学生16名参加
(I G Rいわて銀河鉄道(株)、ima Design Lab | 松森木工所、(株)岩手銀行、NPO 法人環境パートナーシップいわて、信幸プロテック(株)、(株)柴田産業、(株)東北銀行、ニッコー・ファインメック(株)、(株)ミチノク、盛岡セイコー工業(株)、(株)やよいディライト、リコージャパン(株))

■構成団体・企業等

- ・【東北電力(株)岩手支店】岩手県内の学校を対象とした「東北電力SDGs×エネルギーチャレンジ教室」の開催
- ・【東日本旅客鉄道(株)】小学校高学年を対象とした環境教育に関する出前授業の実施
- ・【(株)東北銀行】本行員、支店行員の帯同訪問による伴走研修を実施
- ・【国立大学法人岩手大学】環境人材育成プログラムを2025年度から「イーハトーヴ協創コース」履修モデル5「環境人材育成」に名称・内容をリニューアルして実施

■県民会議 ■構成団体・企業等

- ・令和7年度先進事例視察研修の実施（視察先：(株)ミクニ盛岡営業所、(株)ジャパンセミコンダクター岩手事業所）（2/13実施）

再掲

■岩手県

- ・エコスタッフ養成セミナー実施
実施日 7/23（奥州会場）、9/2（釜石会場）、10/21（盛岡会場）、11/5（久慈会場）
- ・脱炭素経営に係るスキルアップセミナー実施 実施日 2/6
- ・いわて地域脱炭素推進員派遣 派遣実績 80件（R6：80件）

■市町村

- ・【盛岡市】「盛岡市エコチャレンジ」（小学4年生向け）の実施（参加人数：1,277人）
- ・【北上市】「子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ」（小学4年生向け）の実施（参加人数：676人）
- ・【釜石市】「トライ！きみのエコ度チェック」（小学5年生向け）の実施（参加人数：191人）



(2) 県民会議構成団体のネットワーク強化

■県民会議 ■構成団体・企業等

- ・各団体、構成企業で行うセミナー等の情報共有（10回）
【信幸プロテック(株)】50周年イベント「いわてから未来の働き方を考える」
【盛岡市】環境学習講座「脱炭素社会に向けて私たちができること～暮らしと環境にやさしい電気の選び方～」
【岩手県公共交通利用推進協議会】公共交通スマート月間
【環境省】「地域脱炭素フォーラム2025in仙台」
【宮古市】脱炭素フェスタ
【岩手県地球温暖化防止活動推進センター】省エネ家電講習会
【環境パートナーシップいわて】地域循環共生圏SDGsフォーラムinいわて2025
【盛岡地方气象台】いわて防災・気候講演会～いわての気象と防災150年、そして未来へ～
【釜石市】海と希望の学園祭 in Kamaishi
【岩手県生活協同組合連合会】協同組合公開講座「岩手の気候変動対策は進んでいるの？～未来のためにできることを始めよう～」

若者ワーキンググループについて

活動目的

脱炭素社会の実現に向けた課題に対し、若者の視線で検討し、県民会議への提案などを通じて、今後進むべき道やアクションの参考としていただくこと。

メンバー

※R8.3時点

- ・ I G Rいわて銀河鉄道株式会社
- ・ 信幸プロテック株式会社
- ・ NP0法人環境パートナーシップいわて
- ・ 株式会社岩手銀行
- ・ 岩手大学環境マネジメント学生委員会

熊谷 太輔（くまがい たいすけ）
 佐々木 勇人（ささき はやと）
 坂下 慶夏（さかした のりか）
 晴山 滋由（はれやま しげよし）
 鈴木 花（すずき はな）

活動

R5

✓若者WG提言



R6

✓提言の実装化

（人材育成・確保につながる
取組を試行的に実施）
「ゼロカーボン就活～2025冬～」



R7

✓R6の取組を踏まえ事業実施

（人材育成・確保の取組を継続実施）
「『環境×しごと』～サステナブル
カフェ～」の開催



令和5年度の振り返り 県民会議への提言

県民会議～暮らし（家庭・住宅）～への提言

提言① 二酸化炭素を吸収する家！

提言② 人間発電
～ルーティンワークを発電に！～

提言③ エコファンタジアホーム
～新しい形の体験施設～

～現状・課題～

- ・ランニングイニシャルコスト（健康への悪影響があれば取組が進む？）
- ・手軽に再エネに切り替えられない
- ・情報の集め方が分からない
- ・優先順位が高くない、心の余裕がない
- ・重要性やメリットが分かっていない
- ・断熱材の性能
- ・二酸化炭素濃度と健康影響
- ・既得権益の問題 etc…

県民会議～仕事（事業者・産業）～への提言

提言① 新時代！
～脱炭素社会を生き残る企業へ～

提言② 経営者のマインドリセット！

提言③ シフトチェンジ！
～人財確保と知識共有～

～現状・課題～

- ・完成された社内システムに新しい視点を取り入れる面倒さ
- ・経営者の年齢が高く、感度が古い
- ・コスト
- ・失敗したときのリスク
- ・行き当たりばったりの経営
- ・人員不足
- ・補助金の申請手続きの面倒さ

県民会議～行政～への提言～

提言① グリーン企業に補助金を！

提言② 補助金をポップに！

提言③ ビジネスレシピ公開！

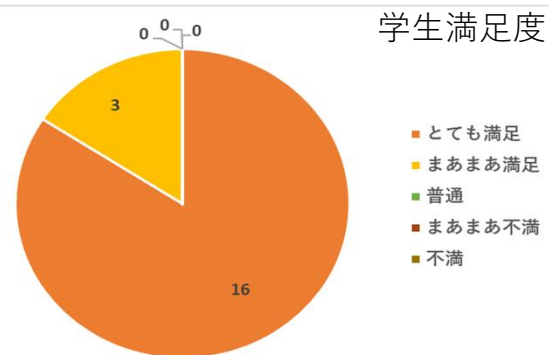
～現状・課題～

- ・企業にとって脱炭素経営のイメージが湧かない
- ・取り組みたいが、何をしたらよいか分からない
- ・企業を後押しする必要性
- ・そもそも補助金があることを知らない人が多い
- ・補助金の内容が難しく、理解できない
- ・補助金のメリットが分かりにくい

令和6年度の振り返り ～ゼロカーボン就活～

仕事分野への提言のうち、「シフトチェンジ！～人財確保と知識共有～」を実現すべく、イベントを企画・実施

- 日時: 令和7年2月22日(土)13:00～16:45
- 場所: アイーナ世代間交流室
- 内容: 企業ごとに異なる1時間のワークショップを3回開催
- 参加者: 企業9社、学生19名



【学生・企業アンケートより抜粋】

- ・楽しく企業の事や、環境について知ることができたのでとても有意義な時間になった。(学生)
- ・環境に興味のある大学生がどの程度の意識レベルなのかを知ることができたが、参加者が少なかったように感じた。(企業)

【課題】

- ・イベントの実施内容は学生、企業ともに好評であったが、学生参加者が少なかった。

ゼロカーボン就活～2025冬～

意外と知らない
いわれて環境配慮やSDGsに取り組む
企業のこと。
企業のみなさんと
ざっくばらんに話してみませんか。

これからの時代を生きる皆さんに知って
ほしい、地球環境のこと、未来のこと。

2025年
2月22日(土)
13時～16時45分

アイーナ6F 世代間交流室

「環境」をテーマに企業・団体と大学生を繋ぐ、県内初のマッチングイベント。環境やSDGsに興味がある方はもちろん、企業がどんな取組をしているのか知りたい方、社会人とお話してみたい方など、どんなでも大歓迎。学生も企業も「スーツ禁止」のカジュアルなイベントですので、ぜひお気軽にご参加ください！

当日スケジュール	参加企業 ※50音順
12:45 受付開始	株式会社岩手朝日テレビ
13:00～13:15 イベント開始・ガイダンス	株式会社岩手銀行
13:15～14:15 企業ブース訪問① ～休憩・ブース移動～	NPO法人環境パートナーシップいわて
14:30～15:30 企業ブース訪問② ～休憩・ブース移動～	工藤建設株式会社
15:45～16:45 企業ブース訪問③	株式会社柴田産業
16:45 イベント終了	信幸プロテック株式会社
	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
	盛岡市動物公園ZOOMO
	株式会社やよいディライト

■ 各企業ブースでは、【環境の取組説明15分+ワークショップ45分=計1時間】のプログラムを用意しており、興味のある3企業を訪問することができます。

■ 裏面をご覧ください、お申込みの際、ブース訪問したい企業を第5希望までお書きください。ただし、申込多数の場合、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

参加費 無料 服装 自由(※スーツ禁止！)
企業側もカジュアルな服装で参加します

お申込み 当日参加もOK！(会場受付にお声がけください)

【主催/問合せ先】温暖化防止いわて県民会議若者ワーキンググループ(事務局:岩手県環境生活企画室) 019-629-5271/AC0001@pref.iwate.jp



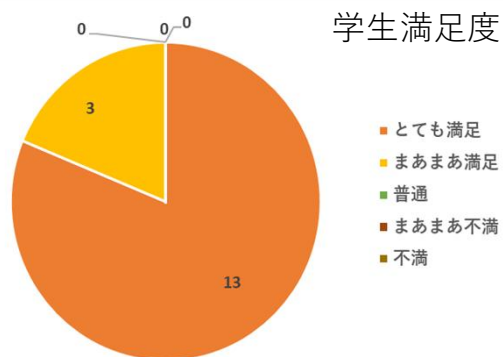
令和7年度の振り返り 『環境×しごと』～サステナブルカフェ～

人材育成・確保プロジェクト



「いわてゼロ・カーボンプロジェクト2025」の一環として、前年度実施した「ゼロカーボン就活」の成果・課題を踏まえ、**人材育成・確保**のためのイベントを企画・実施。

- 日時: 令和7年11月24日(月祝)13:00～16:30
- 場所: キオクシア アイーナ 804会議室
- 参加者: 企業12社、学生16名



【学生・企業アンケートより抜粋】

- ・環境としごとを同時に考える機会がなかったのでこのような機会でも考えることができた。(学生)
- ・様々な情報にアンテナの高い学生と話することができて良かったと思う。(企業)

【イベントを2年間実施したまとめ】

・学生の参加人数が少なかったが、参加した学生の満足度は高かった。参加した企業からも環境の取組を行っている他企業と交流でき刺激となったとの声もあり、有用なイベントを開催することができた。

「環境」テーマの企業交流イベント第2弾！

環境×しごと

～サステナブルカフェ～

2025年11月24日(月祝) 13時～16時30分
※受付開始12:40～

場所	キオクシア アイーナ804会議室(盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1)
対象者	大学生 {「環境やSDGsに興味がある」「企業と交流してみたい」「就活中…」 「なんか楽しそう」など、どんな方でも、何年生でもOK！}
服装	自由(スーツ禁止！)
参加費	無料
内容	12:40～受付開始！ 希望ブース訪問① (1社1時間しっかり訪問！) 希望ブース訪問② (1社1時間じっくり訪問！) フリータイム (何社でも訪問OK！) 16:30 終了予定

参加企業 (50音順) ※順次受付中！

- ・I GRいわて銀河鉄道(株)
- ・ima Design Lab | 松森木工所
- ・(株)岩手銀行
- ・NPO法人環境パートナーシップいわて
- ・信幸プロテック(株)
- ・(株)柴田産業
- ・(株)東北銀行
- ・ニッコー・ファインメック(株)
- ・(株)ミチノク
- ・盛岡セイコー工業(株)
- ・(株)やよいディライト
- ・リコージャパン(株)

事前申込期限 11月14日(金)
当日参加もOKですが、希望企業にご案内できないことがありますので、事前申込をおすすめします

特設ページ
お申込みはこちら

<https://x.gd/6YzXu>

【主催/お問合せ先】温暖化防止・いわて県民会議若者ワーキンググループ(事務局:岩手県環境生活企画室) 019-629-5271/AC0001@pref.iwate.jp

若者WGに参加して・・・



I G R いわて
銀河鉄道(株)
熊谷太輔さん

脱炭素はちりつもなので大小問わず継続していきたいです。
脱炭素をチームで取り組むことで、意識が向上しました。



環境パートナーシップ
いわて
坂下慶夏さん

環境についてやることが自社で明確になりました。脱炭素についてチームで考えることは楽しかったです。人が変わっても、このような活動を続けてほしいと思います。

社会人になってからの、新しい枠組みのチームでした。距離感的にもちょうどよく、正解がないからこそ、自然体で褒めあいながら活動することができました。正解がないのは脱炭素にも言えることで、十人十色の取組があると思っています。

自身の環境への関心の高まりを実感しました。都会の企業だけでなく、地場の企業も様々取り組んでいることを知れて、地元の魅力を感じることができました。社会人とつながりを持てたことで、社会人としての振る舞い方が身に着きました。

会社としても脱炭素をやっているが、WGでは収益を気にせず自由な取組ができました。個人の視点からも考えられて楽しかったです。第2世代、第3世代の若者WGがあってもいいのではと思いました。



(株)岩手銀行 晴山滋由さん



信幸プロテック(株)
佐々木勇人さん



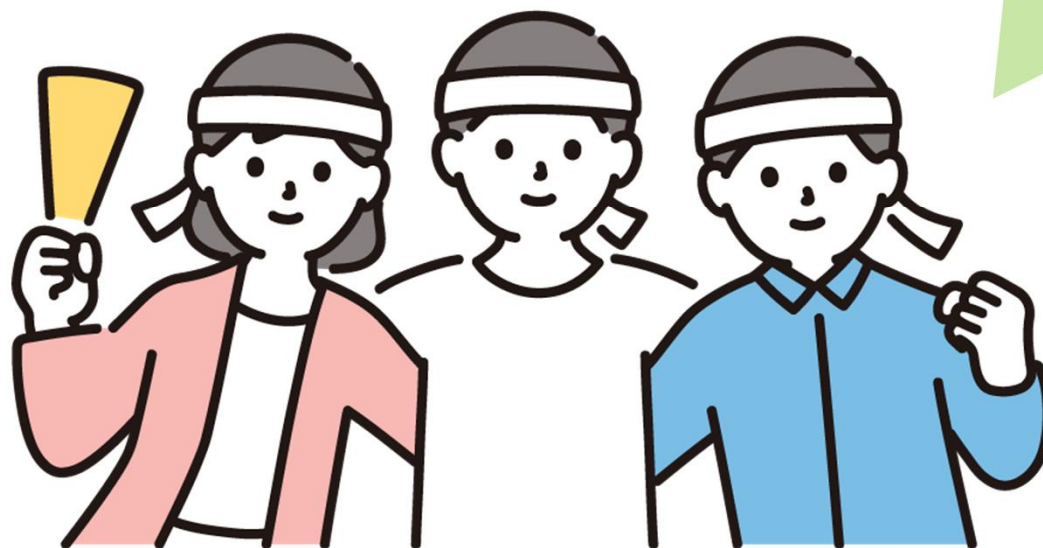
岩手大学 鈴木花さん

県民会議の皆様へのメッセージ

脱炭素で縁をつないで、
岩手の
新しいエネルギーに

若者の**“環境力”**、
想像以上。

脱固定観念！
もっと夢を語ろう



温暖化防止いわて県民会議 令和8年度活動計画案

活動方針

岩手県地球温暖化対策実行計画では、2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比57%減としている。削減目標の達成に向けては、県民、事業者及び行政が一体となった県民運動を積極的に展開する必要がある。令和8年度は、脱炭素社会の実現を目指し、脱炭素化推進のための、県民運動の展開に注力し、構成団体の取組の活性化を目指す。

温室効果ガス削減目標
2013年度 ➤ 2030年度

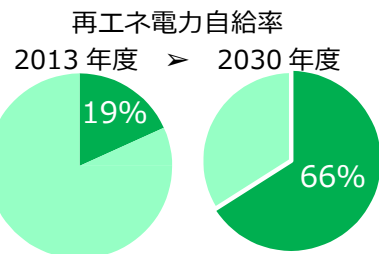
全体
基準年度
▲57%
目標年度

家庭部門
2,847千t
▲57%
1,226

産業部門
4,011千t
▲41%
2,382

業務部門
2,418千t
▲60%
973

運輸部門
2,368千t
▲32%
1,621



活動計画

1 家庭における省エネルギー化

- (1) 脱炭素につながるライフスタイルへの転換促進
- (2) 家電等の購入や買替えにおける省エネ機器の選択促進
- (3) ZEH など省エネ性能の高い住宅の普及促進



2 産業・業務における省エネルギー化

- (1) 脱炭素経営の普及促進
- (2) 事業者の優良事例の波及
- (3) 省エネ設備・機器等の導入促進



3 運輸における省エネルギー化

- (1) 電動車の普及促進
- (2) 公共交通機関等の利用促進
- (3) 再配達削減のための取組



4 再生可能エネルギーの導入促進

- (1) 再生可能エネルギーの普及啓発、情報発信
- (2) エネルギーの地産地消に向けた再生可能エネルギーの導入促進



5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

- (1) 吸収源対策
- (2) 廃棄物対策等



6 気候変動への適応

7 脱炭素化推進のための基盤整備

- (1) 脱炭素化に資する人材育成・確保
- (2) 県民会議構成団体のネットワーク強化



取組内容

(1)	・ 若者世代（Z世代）と連携した情報発信 いわてカーボンフリー・アクション（ICFA） ・ 家庭のエコチェックへの参加促進
(2)	・ 省エネ性能、省エネ家電等の情報発信 ・ 国・市町村の家電等買替補助の活用
(3)	・ 省エネ性能の高い住宅の普及に向けた普及啓発 ・ ZEH住宅補助や設備導入に関する補助の活用

(1)	・ 「できることからECOアクション！」の取組 ・ 脱炭素化に係る各種認定制度取得 ・ 「脱炭素経営促進プロジェクト」の実施
(2)	・ 脱炭素経営事例集の活用 ・ 各種媒体での情報発信 ・ 他団体・企業等の取組視察、勉強会参加
(3)	・ 国・県・市町村の省エネ設備等導入促進補助・融資制度の活用 ・ 省エネ診断や温室効果ガスの可視化ツールの活用

(1)	・ 電動車の性能や効果の情報発信 ・ EV等導入に係る補助制度の活用
(2)	・ 公共交通機関と自動車の使い分け、自転車の積極利用 ・ エコドライブの実践
(3)	・ 宅配事業者との連携による「再配達削減プロジェクト」の実施

(1)	・ 市町村向け「再生可能エネルギー発電事業に係る地域利益協定の手引」、事業者向け「陸上風力発電事業に係る環境影響評価ガイドライン」の普及 ・ 先進事例の共有
(2)	・ 再生可能エネルギー設備導入に係る補助制度の活用 ・ カーボンフリー電力の普及啓発、利活用

(1)	・ 各種吸収源対策に関する事例共有 ・ 森林資源、海洋資源等の保全 ・ クレジットの利活用
(2)	・ 3Rの定着のための情報発信 ・ 3Rの実践、ごみの分別の徹底、食品ロスの削減

	・ 気候変動とその影響に関する研究、ビジネスモデル等情報共有 ・ 気候変動適応対策の実施 ・ 熱中症予防・対策
--	---

(1)	・ 「できることからECOアクション！」受賞企業見学会の実施 ・ 脱炭素に係るセミナー等の実施 ・ 構成団体、企業等の脱炭素アドバイザー等の資格取得
(2)	・ 構成団体相互の情報共有 ・ 参画団体の拡充

令和8年度活動計画 各主体での取組

1 家庭における省エネルギー化

(1) ZEH など省エネ性能の高い住宅の普及促進

■岩手県

- ・ ZEH+水準を満たす住宅購入補助

■市町村

- ・ 省エネ性能の高い住宅の普及に向けた情報発信
- ・ 省エネ住宅購入・改修補助

■構成団体・企業等

- ・ 社員等及び県民への行政の補助金周知
- ・ 省エネ住宅のメリットの発信

(2) 家電等の購入や買替えにおける省エネ機器の選択促進

■県民会議・岩手県

- ・ いわてわんこ節電所での情報発信

■市町村

- ・ 省エネ家電等の普及に向けた情報発信
- ・ 省エネ機器買替補助

■構成団体・企業等

- ・ 省エネ家電等普及に向けた情報発信
- ・ 社員等及び県民への行政の補助金周知



(3) 脱炭素につながるライフスタイルへの転換促進

■県民会議

- ・ 県民向けキャンペーンの実施

■岩手県

- ・ 県内大学生によるプロジェクトチーム「いわてカーボンフリー・アクション (ICFA)」との連携による情報発信等

■市町村

- ・ 各種媒体での情報発信、イベント等での普及啓発

■構成団体・企業等

- ・ 社員等への「家庭のエコチェック」参加促進
- ・ 県民向けキャンペーンの周知、率先参加

2 産業・業務における省エネルギー化

(1) 脱炭素経営の普及促進

■県民会議

- ・ 「できることからECOアクション！」への参加促進、表彰
- ・ 「脱炭素経営促進プロジェクト」の実施

■岩手県 ■市町村

- ・ 脱炭素経営に取り組むメリットの情報提供、普及啓発

■構成団体・企業等

- ・ 「できることからECOアクション！」率先参加
- ・ 脱炭素化に係る各種認定制度取得
- ・ 「脱炭素経営促進プロジェクト」との連携

(2) 事業者の優良事例の波及

■県民会議・岩手県

- ・ 脱炭素経営事例集の活用
- ・ いわてわんこ節電所での情報発信

■市町村

- ・ 各種媒体での情報発信

■構成団体・企業等

- ・ 行政の補助やキャンペーンの周知
- ・ 他団体・企業等の脱炭素に係る取組視察・勉強会参加



(3) 省エネ設備・機器等の導入促進

■岩手県

- ・ 省エネ設備（空調・換気・照明・給湯）補助
- ・ 再生可能エネルギー発電施設等立地促進資金貸付金

■市町村

- ・ 省エネ設備等の普及に向けた情報発信
- ・ 省エネ設備導入補助

■構成団体・企業等

- ・ 省エネ診断や温室効果ガスの可視化ツールの活用
- ・ 国・県・市町村の省エネ設備等導入促進補助・融資制度の活用

令和8年度活動計画 各主体での取組

3 運輸における省エネルギー化

(1) 電動車の普及促進

※ 電動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

■県民会議

- ・わんこ節電所を通じた電動車の省エネ性能や省エネ効果の情報発信

■岩手県

- ・EV・PHVと太陽光発電設備等補助
- ・EV・PHVタクシー、EVバス等補助

■市町村

- ・EV等導入補助

■構成団体・企業等

- ・電動車への転換



(2) 公共交通機関等の利用促進

■構成団体・企業等

- ・「公共交通スマートチャレンジ月間」の取組への参加
- ・勤務体系や交通手段等の状況に合わせ、公共交通（鉄道・バス）や自転車と、自動車の使い分けの呼びかけ
- ・エコドライブの実践



(3) 再配達削減のための取組

■県民会議 ■岩手県

- ・宅配事業者との連携による「再配達削減プロジェクト」の実施

■構成団体・企業等

- ・「再配達削減プロジェクト」との連携
宅配ロッカー設置、受取取扱場所拡大の取組
県民向け再配達削減キャンペーンの周知・利用促進

4 再生可能エネルギーの導入促進

(1) 再生可能エネルギーの普及啓発、情報発信

■岩手県

- ・「再生可能エネルギー発電事業に係る地域裨益協定の手引」の周知
- ・「陸上風力発電事業に係る環境影響評価ガイドライン」の周知
- ・県市町村GX推進会議での先進事例の横展開

■市町村

- ・地域裨益、地域共生型の再エネ導入に係る情報発信
- ・地域新電力の利活用促進
- ・県市町村GX推進会議での事例共有

■構成団体・企業等

- ・再生可能エネルギー施設見学



(2) エネルギーの地産地消に向けた再生可能エネルギーの導入促進

■岩手県

- ・市町村向け計画策定補助
- ・脱炭素先行地域選定に選定された市町村の取組への協力・支援
- ・事業者向け自家消費型太陽光発電補助

■市町村

- ・地域裨益、地域共生型の再エネ導入
- ・再エネ導入のためのゾーニング
- ・住宅向け太陽光発電導入補助

■構成団体・企業等

- ・自家消費型太陽光発電の導入
- ・地域新電力からの電力調達
- ・カーボンフリー電力の普及啓発、利活用

令和8年度活動計画 各主体での取組

5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

(1) 吸収源対策

■県民会議

- ・J-クレジット等の各種吸収源対策に関する事例の共有

■岩手県

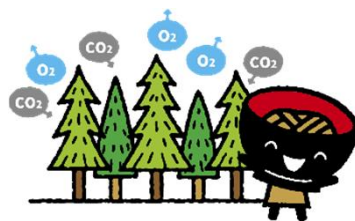
- ・県産木材の利用促進のための情報発信、支援（補助）
- ・県有林のJ-クレジット化

■市町村

- ・市町村林のJ-クレジット化
- ・ブルークレジットの創出、販売

■構成団体・企業等

- ・建築物などへの県産木材の率先利用
- ・森林資源・海洋資源等の保全、植林
- ・クレジットの購入



(2) 廃棄物対策等

■岩手県・市町村

- ・3Rの定着のための情報発信

■構成団体・企業等

- ・3Rの実践、ごみの分別の徹底、食品ロスの削減

6 気候変動への適応

■岩手県（気候変動適応センター）

- ・国の専門機関や大学等との連携による、気候変動とその影響に関する研究、ビジネスモデル等の情報の収集・提供
- ・熱中症予防・対策に係る普及啓発

■市町村

- ・熱中症予防・対策のための情報発信
- ・クーリングシェルター等の設置

■構成団体・企業等

- ・気候変動に適応するための対策の実施、温暖化に対応した桃等の品目の導入 等
- ・熱中症予防・対策

7 脱炭素化推進のための基盤整備

(1) 脱炭素化に資する人材育成・確保

■県民会議

- ・各団体、構成企業で行うセミナー等の横展開
- ・「できることからECOアクション！」受賞企業見学会の実施

■岩手県

- ・エコスタッフ養成セミナー、スキルアップセミナー実施
- ・いわて地域脱炭素推進員派遣

■市町村

- ・脱炭素化に向けた各種セミナー実施

■構成団体・企業等

- ・脱炭素に係る勉強会等の実施
- ・脱炭素アドバイザー等の資格取得
- ・エコスタッフ等による社内での取組展開



(2) 県民会議構成団体のネットワーク強化

■県民会議

- ・構成団体相互の情報共有
- ・参画団体・企業等の拡充



★「いわてゼロ・カーボンプロジェクト2026」の実施 ※別紙

2025年度に引き続き、脱炭素化に資する県民運動を活性化するためのプロジェクトを実施。

① 脱炭素経営促進プロジェクト

⇒ 脱炭素経営に取り組む企業を増やすための施策を検討するほか、優良事例の横展開を図るための企業見学会等を実施。

② 再配達削減プロジェクト

⇒ 佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)との連携による再配達削減のための取組を継続

いわてゼロ・カーボンプロジェクト2025の実績と2026の実施について

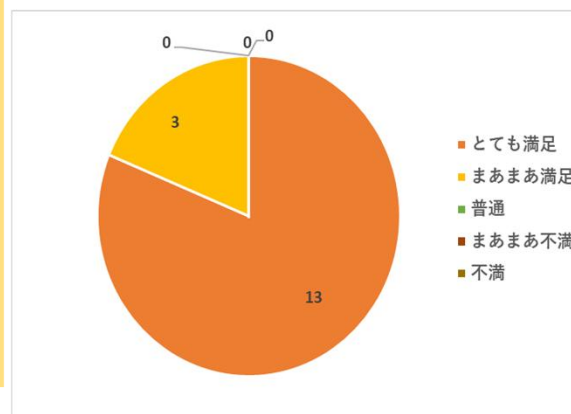
人材育成・確保プロジェクト



人材育成・確保プロジェクトの令和7年度事業実績と令和8年度の活動について

若者ワーキンググループの企画により、県内企業の人材の育成・確保のため、環境に興味のある学生と脱炭素や環境配慮に取り組んでいる県内企業を繋ぐマッチングイベントを実施しました。

- イベント名称:『『環境×しごと』
～サステナブルカフェ～』
- 日時: 令和7年11月24日(月)13:00～16:30
- 場所: キオクシアアイーナ804会議室
- 内容: 企業ごとに異なる1時間のワークショップ
を2回、企業とのフリートーク
- 参加者: 企業12社、学生16名



○参加した学生アンケートより

- ・環境やSDGsに対する思いも聞くことができ、企業の話がとても興味深かった。
- ・環境と仕事を考える機会となり有用な機会だった。

■令和8年度の活動について

- ・人材育成・確保プロジェクトについては、若者WGと連携し、活動を行っておりました。
- ・若者WGの活動が令和7年度で一区切りとなっていることから、当プロジェクトについても一区切りといたします。
- ・令和8年度からは、企業の脱炭素化に係る優良な取組の共有による横展開等を行うことで、人材の育成・確保を進めてまいります。



令和8年度脱炭素経営促進プロジェクト

脱炭素経営に取り組む企業を増やすため企業見学会等を通じて優良事例の横展開を図ります。

企業見学会等の実施

■ 脱炭素の取組の優良事例の横展開を図るため、「できることからECOアクション！」等の受賞企業の見学会等を開催予定です。

時期検討中

【実施イメージ】



構成団体相互の情報共有

- いわてわんこ節電所内「県民会議」ページにおいて、構成団体・企業等が実施する、特筆した取組を周知します。
- 他の構成団体や一般県民も参加可能なセミナー、研修会などについては、同ページで周知するほか、メルマガ等で情報共有を行います。

通年





再配達削減プロジェクト事業の令和7年度実績と 令和8年度の取組について

運輸部門の温室効果ガス排出量の削減のため、**佐川急便株式会社、ヤマト運輸株式会社**との連携により、**県民一人ひとりの再配達削減に係る行動変容**を促す「再配達削減プロジェクト」を継続します。

受取場所連携キャンペーン

実施時期: 6月～3月

- まちの宅配便ロッカーを増やす取組を行います。(R7実績: 0件)
- 店舗や公共施設など多様な場所で荷物を受け取ることができるよう、温暖化防止いわて県民会議構成団体等に荷物受取取扱場所を増やす働きかけを行います。(R7実績: 3件増)

再配達削減キャンペーン(再配達削減アイデアコンテスト in IWATE)

実施時期: 11～2月

- 県民に対し、再配達削減のためにどのような事が出来るのか、考え行動していることを教えていただくコンテスト型のキャンペーン行います。
(R7実績: 256名の応募があり、ヤマト運輸賞、佐川急便賞、岩手県賞、岩手県地球温暖化防止活動推進センター賞を優れたアイデアを提出した方に授与しました。)
- いただいたアイデアはHP等の各種媒体で広く周知を行います。

特別講演講師について



Earth hacks(株) 代表取締役社長 CEO

関根 澄人 氏

- ・ 2009 年博報堂に入社。様々な企業のブランディングやマーケティング業務を担当。2020 年より三井物産に 3 年間出向。2023 年に Earth hacks 株式会社を設立。
- ・ 「脱炭素を楽しく！」ではなく、「楽しいことが脱炭素にも貢献していた！」となる社会を目指している。
- ・ 事業内容は、CO2 排出削減の計算、マーケティング支援、イベント開催等。
- ・ 主な取組は、デカボチャレンジ※1、デカボスコア※2。



※1 デカボチャレンジは、「Z 世代 × 大企業」の共創による脱炭素をテーマとした事業創出プロジェクト。「つくりたいのは面白い方の脱炭素」をスローガンに掲げ、Z 世代の参加者たちが、日本を代表する企業や自治体の現場社員と共に議論を重ね、さまざまなアイデアを提案し、共創する場を提供するもの。2022 年にスタートし、これまでに 40 社以上の企業と、延べ約 480 名の学生が参加。(2024 年 7 月時点)



※2 デカボスコアとは、商品やサービスの CO2 排出量を、従来の製品と比較してどれだけ削減できたかをパーセンテージで可視化するための Earth hacks 独自の指標。(株)ニチレイ、味の素(株)、サントリー(株)等で導入している。

県民が自ら選びたくなる これからの脱炭素

2026.6.8

CONFIDENTIAL

 Earth hacks



関根 澄人

Earth hacks株式会社代表取締役社長 CEO

- ・東京工業大学院 生体システム専攻 修了
- ・2009年博報堂に入社
- ・18年に博報堂従業員組合中央執行委員長
- ・20年4月から三井物産に3年間出向
- ・23年にEarth hacks株式会社を設立

GX/脱炭素委員

・環境省：
デコ活POSITIVE ACTION
Initiativeリーダー

・経産省：
産業競争力強化及び排出削減の
実現に向けた需要創出に資する
GX製品市場に関する研究会

・日経新聞：
Nikkei GX会議メンバー



執筆/書籍

・書籍：
脱炭素(デカボ)は伝え方が97%

・書籍：
答えのない時代の教科書

・日経新聞：
朝刊：経済教室「私見卓見」

・宣伝会議：
クリエイターのための事業計画



講演/セミナー

・COP28/30：
Japanパビリオン現地登壇
※COP31も現地登壇予定

・経団連：
サステナブル消費に関する
シンポジウム登壇

・きさらぎ会：
東京きさらぎ会11月例会



MC

・JWAVE：
「offの日、どっちっち」
メインパーソナリティ

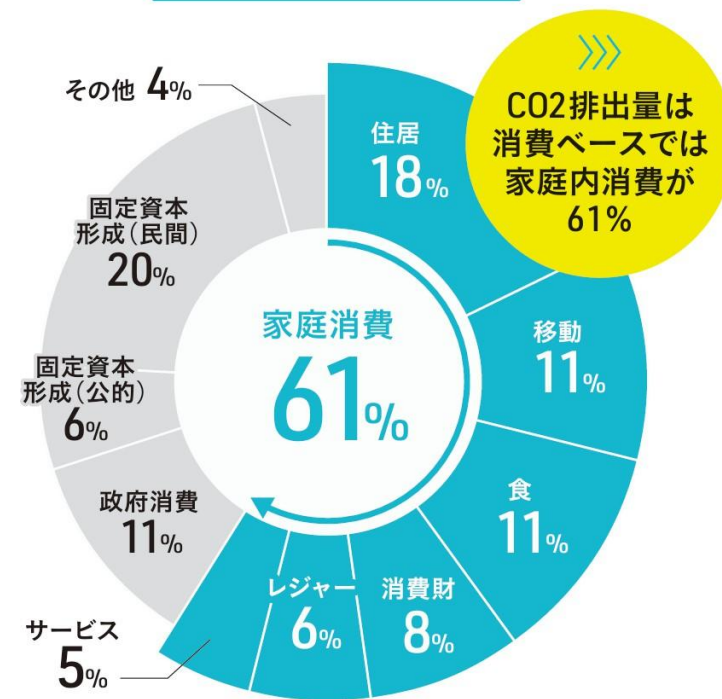
・youtube：
デカボキャリア



生活者 × 社会課題

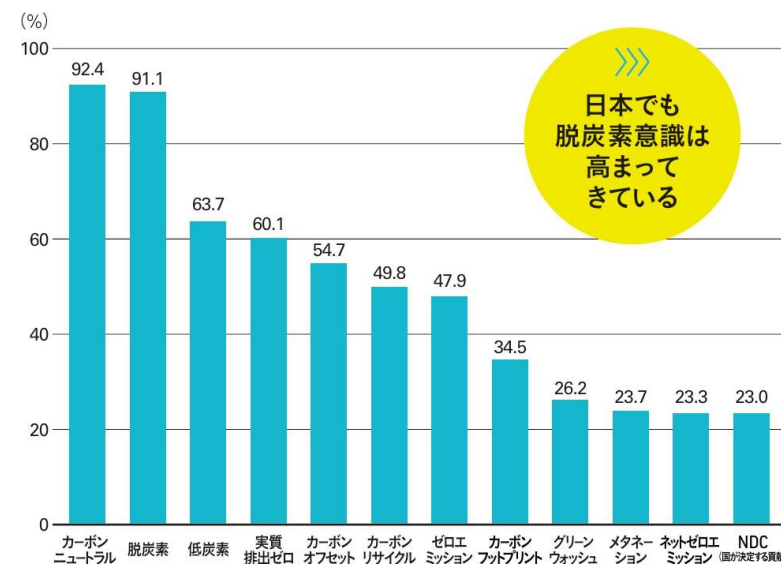
CO₂排出量は消費ベースでは
家庭内消費が**61%**

日本のCO₂排出量は？



脱炭素/カーボンニュートラルの 認知は90%以上

下記の言葉を知っているか(言葉を知っている+内容まで知っている)

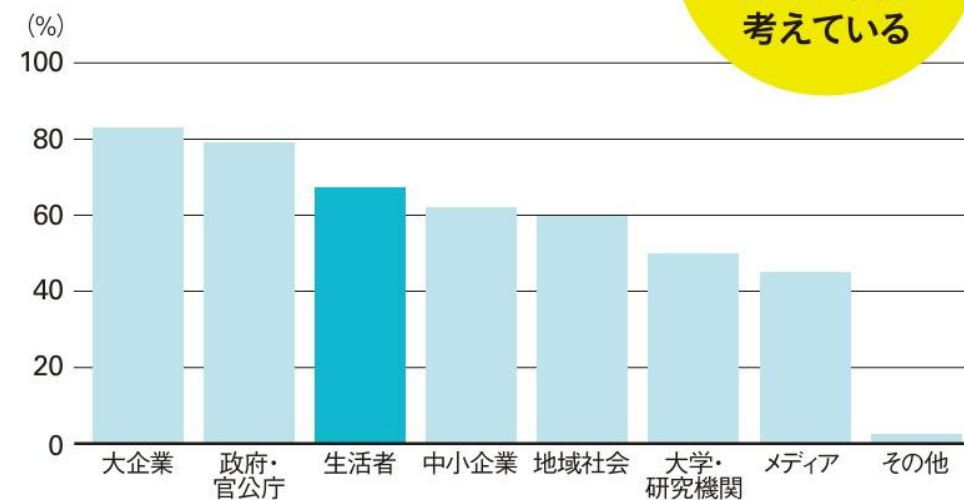


出典: 博報堂 第6回 生活者の脱炭素意識 & アクション調査 2024年10月

生活者も取り組むべき

67%

脱炭素は誰が取り組むべき
課題だと思うか(複数回答)



生活者も取り組むべきだ」と
67%の人が
考えている

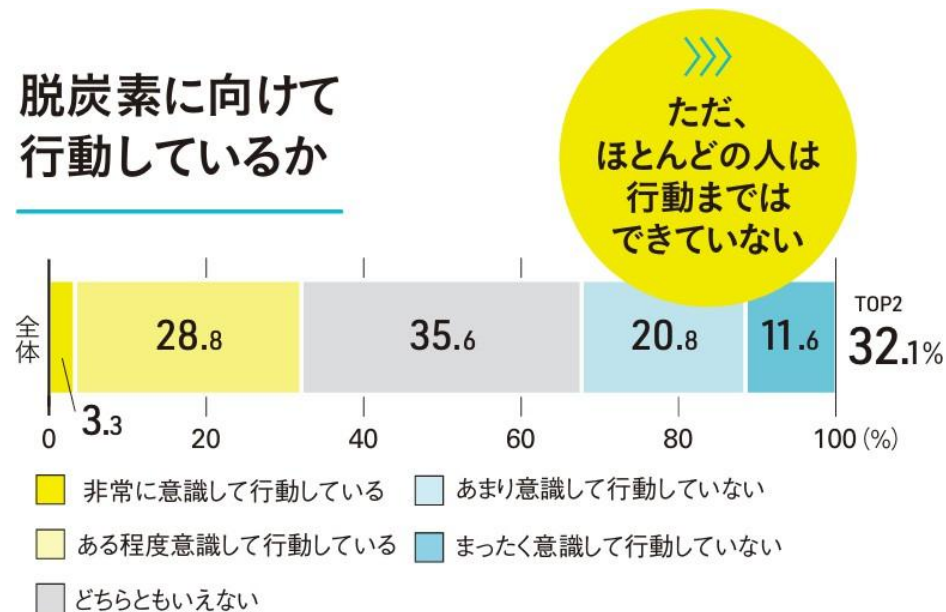
出典: 博報堂 生活者の脱炭素意識 & アクション調査【①意識編】2021年9月

では、実際に行動しているのは？

積極的に意識して行動している

3~4%

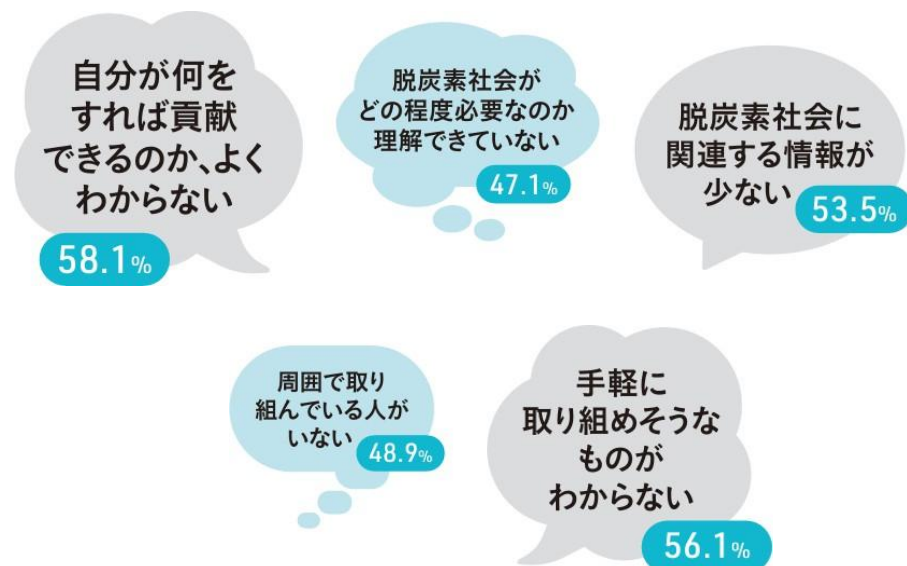
脱炭素に向けて
行動しているか



出典: 博報堂 生活者の脱炭素意識 & アクション調査【①意識編】 2021年9月

行動できてない理由は 何をして良いかわからない

「脱炭素」をまだ実践できていない理由



脱炭素アクションに
必要なトリガーは2つ

欲望 × ストーリー



貢献実感



日本らしい 脱炭素アクション

私たちが1日でしている
決断の回数は
最大で **3万5千回**



食べるものや場所といった
食事に関する事柄だけで、
人は1日に2,267回の決断をしている

※コーネル大学のジェフェリー・ソバル教授らの調査

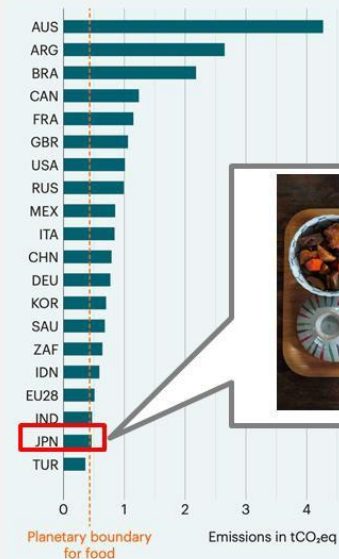
車を1マイル(1.6km)運転するに
つき、人は200を超える
決断をしている

※米国労働安全衛生局



日本の食生活における
CO2排出量は
欧米の1/2

—各国国民の食事におけるCO2排出量の比較—



VS.



参考URL :
https://eatforum.org/content/uploads/2020/07/Diets-for-a-Better-Future_G20_National-Dietary-Guidelines.pdf

社会課題行動理由は 海外は「責任感/地元愛」 日本は「楽/得」

社会課題に対する行動理由

各地域の特徴まとめ



Japan

【行動の特徴】

人も自然も傷つけない

【特徴的な理由】

「楽(ラク)・得(トク)」駆動型



New York

【行動の特徴】

マイノリティの配慮と
慈善活動

【特徴的な理由】

責任感とNY愛



Paris

【行動の特徴】

全方位的に行動率が高い

【特徴的な理由】

責任感と自己利益



Berlin

【行動の特徴】

ワークライフバランス・
脱プラ・プライバシー

【特徴的な理由】

地域のために

「脱炭素のためにこうしましょう」

ではなく

「ステキな暮らしの結果」

としての脱炭素が大事。

2023年会社化

正解より別解。

Hakuhodo



すべては、
志からはじまる。



脱炭素をテーマに

「別解」と「志」で世界を動かす。

① Earth hacks & Co.

社会課題解決の主役は、生活者だ。

脱炭素、ヘルスケア、DX。

あらゆるメガトレンドに共通する壁がある。

正しさが共有されても、行動は変わらない。

技術や制度は整いつつある。

だが成果を決めるのは、一人ひとりの日常の選択だ。

GDP成長とGHG排出の分離。2050年ネットゼロ。

これは制約ではない。AIやIoTに匹敵する、新たな産業革命である。

Earth hacksは、この変革の中心に

行動変容そのものを社会インフラとして構築する。

生活者が自然に選び、参加し、続けられる仕組み。

その選択が企業価値へ還元され、経済的成果として循環する構造。

それは単なるキャンペーンではない。単なるプロダクトでもない。

社会を動かす“行動の基盤”である。

このインフラは、脱炭素にとどまらない。

ヘルスケア、資源循環、DXへと横断的に拡張する。

社会課題解決の主役が生活者へ移る時代。

Earth hacksは、その行動変容インフラを築く。



 Earth hacks

Earth hacksが目指す脱炭素アクション

これまで(正解)

『課題解決型』

CO2排出量の多いアクションを
我慢して減らそう!

(企業／自治体)脱炭素に向けて
新しい取り組みを!

つまらない脱炭素を
どうにか面白く!



⑦ Earth hacks & Co.(別解)

『欲望刺激型』

CO2排出量の少ないアクションを
称賛して増やそう!

(企業／自治体)今の環境取り組みを
新しい価値に!

普段の面白いが
実は脱炭素にも!

欲望刺激型の新しい選択基準

日本人の無理なく
『美味しい/可愛い/楽しい日常アクション』
を入り口に
“実は”環境にも貢献している



デカボ

デカボ

を生み出す新しい選択基準



商品やアクションのCO2削減率をスコア化した 新しい環境価値の指標

商品を選ぶ新しい基準のひとつに

デカボスコア





デカボスコア

300社1,500アイテム以上に導入



 Tokyu Store

あなたと、コンビニ、
 FamilyMart

阪急OASIS

pal*system

 京急ストア



 AJINOMOTO

KIRIN

SUNTORY

KaO

meiji

 House

 ニシキ

KAGOME



FANCL

 UCC
ひと粒と、世界に、愛を

いつでも、ふう。
 AGF®

Kracie

 KOSÉ

 Otsuka

いのちをつなぐ
SARAYA
など



絹織物/ヒトと地球と未来の暮らしにやさしいモノづくり
KuSu organic シルクロー 新パイオ有機練加工フェイスタオル



ポーセランド/子どものために、地球のために、デンマーク製！サステイナブルなあそび道具
I'm green スタッキングビーカー



ポーセランド/子どものために、地球のために、デンマーク製！サステイナブルなあそび道具
I'm green お砂場あそびセット



ポーセランド/子どものために、地球のために、デンマーク製！サステイナブルなあそび道具
I'm green アイスクリームセット



Maison Nexos / AKT
TangentGC ハンドソープ



Maison Nexos / AKT
Vegan Leatherカラー



ECOLALF/ヨーロッパ発サステナブルファッションブランド
ACT ECO ニットドレス WOMAN



DEW Select/デザイン性・アート性・ストーリー性溢れる日用品をお届け
CORNマスク



漆塗器漆器/明治42年前葉の漆器
suw 漆と木のストロー



Pure Waste/安いのに環境にいい服を作るブランド
Japan FIT Men's T-shirt



kaala/ヴィーガン素材を使用したヨガバッグブランド
Yoga Mat Bag "Aalto"



AIRPAQ/車の荷材から生まれたバッグ
Backpack



デカボスコア

様々な商品の環境価値をデカボスコアで表示

NB

SUNTORY



KIRIN



KIRIN
キリン 生茶 525ml

Aji
AJINOMOTO



花王
キュキュット クリア除菌 緑
茶 つめかえ用700ml

KaO



KAGOME



カゴメ
大豆ミートのキーマカレー

House



ハウス食品
カレー屋カレー大辛 (180g ×
3箱セット)

PB

Tokyu Store



株式会社東急ストア
「手紙のついた野菜と果物」 減農
薬・減化学肥料の野菜

FamilyMart



FamilyMart
たっぷりクリームダブルシュー

無印良品



無印良品
竹100%ティッシュペーパー



無印良品
キャロットケーキ



デカボスコア

商品以外の環境価値もデカボスコア化

持ち込み利用



リサイクルプラカップを
月に3回、合計1年間使用
した際

↓
バイオプラスチックを
30%使用しつくった
タンブラー

デカボスコア
63%
off
by Earth hacks 2023.3

地産地消



日本で消費される平均的
な納豆120gを神奈川で
消費

↓
輸送による環境負荷を減
らした「神奈川産納豆」
120gを神奈川で消費

デカボスコア
9%
off
by Earth hacks 2024.7

フードロスレシビ



新たに調達した大根の皮
を使用

↓
家庭に余っている大根の
皮を使用

デカボスコア
53%
off
by Earth hacks 2023.3

リサイクル参加



分別せずに廃棄し、焼却
処理された場合

↓
FANCL リサイクル
プログラムでリサイクル
した場合

デカボスコア
93%
off
by Earth hacks 2024.7



デカボスコア

環境省と日常の96アクションをデカボスコア化

Earth hacks、環境省などとともに脱炭素社会の実現に向けてデコ活「The POSITIVE ACTION Initiative」を本格稼働

生活者の様々な脱炭素に資する行動のCO2排出削減効果のデータベース化や社会実装に向けた活用に関与する各社と連携して取り組む





デカボスコア

昨年環境大臣賞をW受賞

【第8回エコプロアワード環境大臣賞表彰式】「デカボスコア」が直感的な環境価値表示と導入実績の広がりでも高評価

Earth hacks株式会社 2025年12月18日 11時00分



Earth hacks株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：関根澄人、以下「Earth hacks」）は、2025年12月12日に第8回エコプロアワード表彰式において、環境大臣賞を受賞しました。表彰式では、環境副大臣より表彰状が授与され、Earth hacksが取り組んできた、生活者の行動を起点とした脱炭素の実践と、その環境価値をわかりやすく伝える仕組みについて評価コメントが述べられました。本アワードは、日本市場における優れた環境配慮型の製品・サービス・技術・ビジネスモデルの取り組みの中でも、社会的意義や波及性の高い事例を表彰するものです。



【令和7年度「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞】環境価値を直感的に伝える「デカボスコア」と行動変容を促す仕組みが高評価

Earth hacks株式会社 2025年12月23日 11時00分



Earth hacks株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：関根澄人、以下「Earth hacks」）は、令和7年度「気候変動アクション環境大臣表彰」普及・促進部門（緩和分野）にて環境大臣賞を受賞しました。本受賞は、「デカボスコア」が生活者の環境価値への理解を促し、行動変容につなげる仕組みとして評価されたものです。



デカボスコア

に欲望の入り口(美味しい/楽しい/可愛い)を作るパートナーと連携して
3テーマで新たな**デカボ文化 & 市場**を生み出す

売場／買い物



デカボだと
選ぶ理由が増える



デカボだと
商品の売上が上がる



教育／キャリア



デカボだと
わかりやすい・楽しい



デカボだと
共感や関心が上がる



推し活／ファン活



デカボだと
関わりや貢献が増える



デカボだと
継続的繋がりが増える



売場／買い物



デカボだと
選ぶ理由が増える



デカボだと
商品の売上が上がる

阪急OASIS

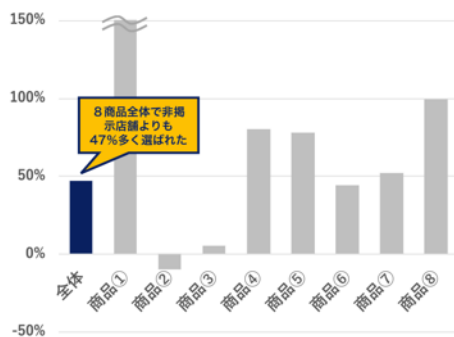
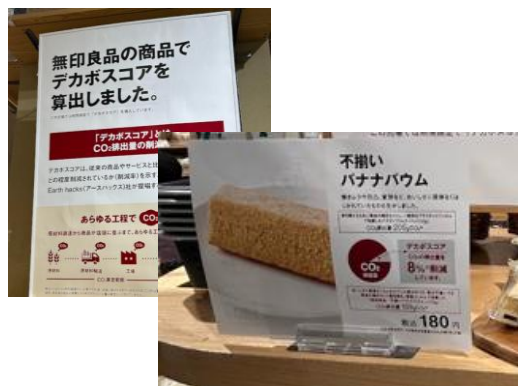
PI値：280%



3商品平均

某流通小売り

売上：147%



Tokyu Store

数量：106%



【手紙のついた野菜と果物】
キャンペーン前比較
販売数量：106%

イズミカ

売上：232%



教育／キャリア



デカボだと
わかりやすい・楽しい



デカボだと
共感や関心が上がる



産官学連携

学校×自宅×売場連動
脱炭素教育モデル



優秀賞受賞

Quiz Knockとコラボ
探求学習教材

Earth hacks、QuizKnockとコラボし、中高生向け探究型学習教材「すごろくとクイズで楽しく学べる脱炭素」を公開



倍率50倍以上

社会課題をテーマとした
5日間インターン



Z世代は「社会的インパクト」で企業を選ぶ
企業と学生が共創する5日間の挑戦
「デカボチャレンジ」



7万人以上
の学生

約100名
選出



平均各10万再生

社会課題キャリア教育
YOUTUBE番組



推し活／ファン活



デカボだと
関わりや貢献が増える



デカボだと
継続的繋がりが増える

あなたは〇〇ト！？

デカボmyスコア

1,000人/日参加

スポーツチームと連携した
個人CO2排出量算定



DECA/BEAT
デカ/ビート

MV50万再生

ハロプロ×デカボの
世界唯一の脱炭素アイドル



YouTube視聴回数**50万回以上**
「デカビート」の総リーチ数**15億以上**
Xのインプレッション**150万回以上**

*2026/5/30時点

Offの日、
どっち？

聴衆数20万人

デカボ褒めによるトーク番組
J-waveラジオ番組



Earth hacks & Co.

地方自治体との連携も拡大中

【東京都】 TOKYO GX ACTION



【神奈川県】 CO₂CO₂ポイント



【大阪府】 事業連携協定締結



【福岡市】 広報戦略&PR



【愛媛県】 県産品/県民のデカボ



【京都市】 京都市内のデカボ



様々なパートナーと共にデカボを拡大



 **Earth hacks & Co.**

省エネ一斉行動「できることから ECO アクション！」表彰実施要領

(趣旨)

第1 この要領は、省エネ一斉行動「できることから ECO アクション！」実施要領第5の規定に基づき、特に優れた取組を実施した事業所の表彰の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(表彰対象)

第2 表彰部門及び表彰対象は、省エネ一斉行動「できることから ECO アクション！」に取り組んだ事業所のうち、次のとおりとする。

部 門	表 彰 対 象
脱炭素経営大賞	県内をリードする模範的な事業所や総合的に優れた取組を実施した事業所
会長特別賞	会長が特別に優れていると認めた事業所
ECO アクション賞 (部門賞)	特定の分野において特筆すべき取組を行った事業所

(受賞者の選考)

第3 脱炭素経営大賞受賞者の選考については、次のとおり実施するものとする。

選考	選考基準	選考実施者																																			
第一次選考	取組報告書に記載の ECO アクション！STEP①の取組項目（15 項目）について、8 割（12 点項目）以上の取組があり、かつ、「事業所における地球温暖化対策への具体的取組」に記載がある者。ただし、以下の者を除く。 ・ 直近 2 年以内に同賞を受賞した者 ・ 直近 2 年以内に岩手県環境保全活動知事表彰（地球温暖化防止部門）を受賞した者	事務局																																			
第二次選考	以下 1 及び 2 の点数を合計した数を総合点とし、最も総合点が高い一者を受賞候補者とし、幹事会に諮問し、受賞者案を決定。 1 報告書に記載の ECO アクション！STEP①の取組項目数に応じて採点。 （1 項目 1 点） 2 （1） ECO アクション！STEP②に記載の取組内容について、別に定める審査員において、以下の「評価基準」の観点ごとに、「評点の考え方」により採点。 （2） それぞれの採点結果から、観点ごとの平均点を算出し、観点ごとの平均点を合計。 (評価基準) <table><tr><td>①効果</td><td colspan="4">・省エネ効果・二酸化炭素削減効果・効率性・費用対効果等が高い取組か</td></tr><tr><td>②独自性</td><td colspan="4">・創意工夫・アイデアを加えているか ・ユニーク・斬新な取組か</td></tr><tr><td>③組織内での浸透</td><td colspan="4">・従業員への周知・啓発や人材育成など事業所をあげての取組になっているか ・事業所が一体となった取組であるか</td></tr><tr><td>④継続性</td><td colspan="4">・継続して取り組んでいるか、今後も継続して取り組めるものか</td></tr><tr><td>⑤発展性・波及可能性</td><td colspan="4">・他の事業所でも取り組めるもの・普及が期待できるものか ・社外（地域等）へ影響を与えるものか</td></tr></table> (評点の考え方) <table><tr><td>特に優れている</td><td>優れている</td><td>取り組んでいる</td><td>取組が弱い</td><td>取り組んでいない</td></tr><tr><td>5 点</td><td>4 点</td><td>3 点</td><td>2 点</td><td>1 点</td></tr></table>	①効果	・省エネ効果・二酸化炭素削減効果・効率性・費用対効果等が高い取組か				②独自性	・創意工夫・アイデアを加えているか ・ユニーク・斬新な取組か				③組織内での浸透	・従業員への周知・啓発や人材育成など事業所をあげての取組になっているか ・事業所が一体となった取組であるか				④継続性	・継続して取り組んでいるか、今後も継続して取り組めるものか				⑤発展性・波及可能性	・他の事業所でも取り組めるもの・普及が期待できるものか ・社外（地域等）へ影響を与えるものか				特に優れている	優れている	取り組んでいる	取組が弱い	取り組んでいない	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	幹事会
①効果	・省エネ効果・二酸化炭素削減効果・効率性・費用対効果等が高い取組か																																				
②独自性	・創意工夫・アイデアを加えているか ・ユニーク・斬新な取組か																																				
③組織内での浸透	・従業員への周知・啓発や人材育成など事業所をあげての取組になっているか ・事業所が一体となった取組であるか																																				
④継続性	・継続して取り組んでいるか、今後も継続して取り組めるものか																																				
⑤発展性・波及可能性	・他の事業所でも取り組めるもの・普及が期待できるものか ・社外（地域等）へ影響を与えるものか																																				
特に優れている	優れている	取り組んでいる	取組が弱い	取り組んでいない																																	
5 点	4 点	3 点	2 点	1 点																																	
最終選考	受賞者案について会長に諮問し、受賞者を決定。	会長																																			

2 会長特別賞受賞者の選考については、次のとおり実施するものとする。

選考	選考基準	選考実施者
最終選考	当該年度の「脱炭素経営大賞」及び「ECO アクション賞（部門賞）」に係る一次選考を通過した者のうち、会長が特別に優れていると認めた一者を、受賞者として決定。ただし、特別に優れていると認めた事業所がない場合は、選出しないこともできる。また、当該年度の「脱炭素経営大賞」及び「ECO アクション賞（部門賞）」受賞者は除くこととする。	会長

3 ECO アクション賞（部門賞）受賞者の選考については、次のとおり実施するものとする。

選考	選考基準	選考実施者
第一次選考	取組報告書において、ECO アクション！STEP②に記載がある者。ただし、以下の者を除く。 ・ 直近2年以内に脱炭素経営大賞を受賞した者 ・ 直近2年以内に岩手県環境保全活動知事表彰（地球温暖化防止部門）を受賞した者	事務局
第二次選考	第一次選考を通過した者のうち、以下の5部門で最も特筆すべき取組が認められる事業所を、幹事会において選考。ただし、特筆すべき取組が認められない部門からは、選出しないこともできる。 （表彰対象部門（5部門）） ① 人材育成・意識啓発 ② 自動車対策 ③ 省エネ・再エネ設備等導入 ④ 技術開発・製品化 ⑤ 吸収源対策	幹事会
最終選考	第二次選考を通過した者のうち、会長が被表彰者を決定。	会長

（表彰）

第4 表彰は、会長が行う。

2 県民会議は、前項により表彰された事業所の取組について広く周知し、その優良事例が展開されるよう努めるものとする。

（補則）

第5 この要領に定めるもののほか、この要領の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、令和6年8月22日から施行する。

第2次岩手県地球温暖化対策実行計画（令和8年3月改訂）の概要

参考資料No.2

第1章 計画の基本的事項

2019年11月 本県の次期環境基本計画の長期目標として
「温室効果ガス排出量2050年実質ゼロ」を掲げる旨表明
2021年3月 「第2次岩手県地球温暖化対策実行計画」策定
2021年5月 地球温暖化対策推進法が改正され、2050年カーボンニュートラル宣言が基本理念として位置づけ
2021年10月 国の地球温暖化対策計画の目標として、2030年度温室効果ガス46%減（2013年度比）が決定
2023年3月 「第2次岩手県地球温暖化対策実行計画」において2030年度温室効果ガス57%減（2013年度比）に目標引上げ
2025年2月 国の地球温暖化対策計画が改定され、2030年度46%減に加え、2035年度60%減（2013年度比）、2040年度73%減（2013年度比）とする目標決定

⇒2025年度、県計画の中間年見直しを実施

◆計画期間：令和3(2021)年度～令和12(2030)年度

第2章 本県の地域特性

■ **自然的、社会的特性：** 広大な県土…世帯当たりの自家用車保有台数全国17位…次世代自動車導入低水準、年平均気温低…世帯光熱費高水準…高効率な省エネルギー機器所有低水準

■ 地域資源

風力、地熱は全国的にも賦存量に恵まれた地域

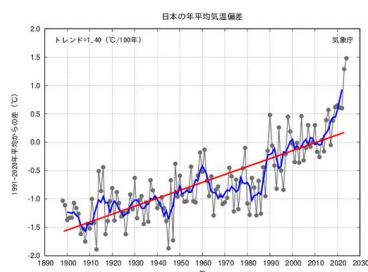
推定利用可能量：風力2位（209億kWh）、地熱2位（11億kWh）

第3章 地球温暖化の現状と課題

温室効果ガスの増加に伴う気温上昇による気候変動・気象災害が顕著であり、温室効果ガス排出量の削減は喫緊の課題

世界の気候が非常事態に直面しているという認識の下、2021年2月「いわて気候非常事態宣言」を発出

■ 日本の年平均気温偏差



世界平均気温

100年当たり0.91℃の割合で上昇

日本平均気温

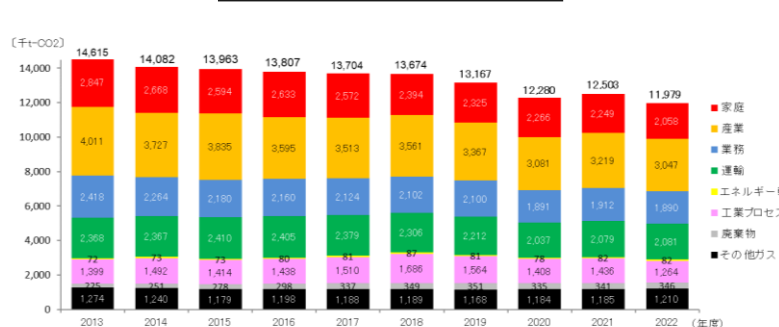
100年当たり1.4℃の割合で上昇

岩手県

100年当たり1.9℃（盛岡）0.8℃（宮古）3.0℃（大船渡）の割合で上昇

第4章 温室効果ガス排出量等の現況と将来予測

■ 温室効果ガス排出量の推移



第5章 計画の目標

■ 目指す姿

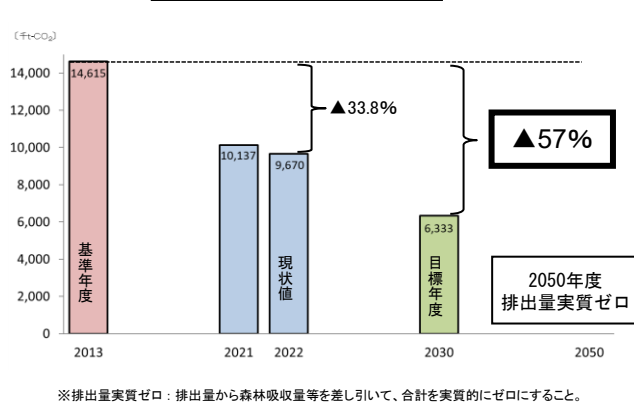
省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する豊かな生活と持続可能な脱炭素社会

■ 目標

【2030年度】

温室効果ガス排出削減割合（2013年度比）57% 再生可能エネルギー電力自給率 66%、温室効果ガス吸収量 1,521千トン

■ 温室効果ガス削減目標

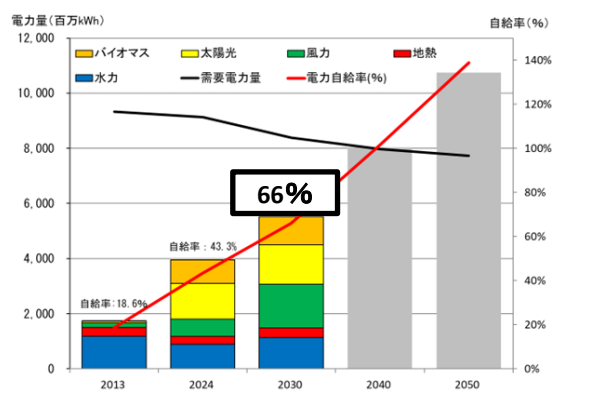


※排出量実質ゼロ：排出量から森林吸収量等を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

■ 温室効果ガス削減量

	目標値
削減対策等	▲6,761(▲47%)
うち、再エネ導入	▲1,065(▲7%)
森林等吸収源	▲1,521(▲10%)
合計	▲8,282(▲57%)

■ 再生エネ電力自給率



第6章 目標の達成に向けた対策・施策

▶各主体の自主的な取組の促進 ▶地域特性を生かした取組 ▶地域経済や生活等の向上 ▶グリーントランスフォーメーション推進 ▶SDGs

省エネルギー対策の推進

家庭における省エネルギー化

住宅等の省エネ化、省エネ性能の高い設備・機器の導入促進、エネルギーの効率的利用促進

産業・業務における省エネルギー化

省エネ性能の高い設備・機器や再エネ設備の導入促進、脱炭素経営等の促進、情報通信技術等を活用した事業活動等の環境負荷低減

運輸における省エネルギー化

公共交通の利用促進、電動車普及促進、物流の環境負荷低減

中間年見直しにより追加等を行った主な施策等は、別紙参照

再生可能エネルギーの導入促進

着実な事業化と地域に根ざした再生可能エネルギーの導入

導入量拡大、関連産業への参入支援、地域環境への配慮

自立・分散型（地産地消）エネルギーシステムの構築

自立・分散型エネルギーシステムの構築、エネルギーの地産地消に向けた再エネ導入促進、環境付加価値の活用

水素等の利活用推進

再エネ由来水素の利活用推進、その他次世代エネルギー（アンモニア、合成メタン等）の利活用推進

多様なエネルギーの有効利用

バイオマスエネルギー、温泉熱などの未利用エネルギーの利用促進

多様な手法による地球温暖化対策の推進

温室効果ガス吸収源対策

持続可能な森林整備、県産木材の利用促進、森林づくりの推進、ブルーカーボンの推進、その他吸収源対策の促進

廃棄物・フロン類等対策

廃棄物の発生抑制・リサイクルの促進、循環型社会形成ビジネス・技術開発支援、フロン類排出抑制、メタン等の排出削減対策促進

基盤的施策の推進

県民運動、分野横断的施策、環境学習

県の率先的取組の推進

目標 県の事務事業における温室効果ガス排出削減割合（2013年度比）60%

業務活動の省エネ化、施設・設備の省エネ化、再エネの導入、再エネ電力使用の推進、その他省エネや環境配慮に資する業務の推進

第7章 気候変動への適応策

■ 気候の現状と将来予測

20世紀末と比較して、21世紀末の年平均気温約1.4℃上昇、夏日約16日増、冬日約21日減、大雨頻度増 ※2℃上昇シナリオ

■ 適応策

農林水産業

温暖化に対応した「もも」等の品目の導入、海水温の上昇等に対応した新規養殖種の導入支援 等

自然災害

流域治水プロジェクトを踏まえた防災・減災対策の推進 等

健康

クーリングシェルター設置の促進 等

基盤的施策の推進

▶ 岩手県気候変動適応センターによる情報収集・提供
▶ 国・大学・研究機関等との連携による情報収集・提供
▶ 県民理解の促進 等

中間年見直しにより追加等を行った主な施策等は別紙参照

第8章 各主体の役割と計画の推進

■ 県の役割

県内の地球温暖化対策の総合的な実施
市町村、事業者等の取組の支援

■ 市町村の役割

区域の地球温暖化対策の総合的な実施
日常生活における省エネ活動の取組
環境に配慮した消費生活の実践

■ 事業者の役割

環境負荷の少ない製品の製造・開発
事業所における温室効果ガス排出の抑制

■ 教育機関等の役割

地球温暖化等に関する学び機会の提供

計画の推進

県内各組織、団体との連携・協働を強化し、全県的に各種施策を展開

▶ 「温暖化防止いわて県民会議」を中核とした連携・協働体制の強化
▶ 「県市町村GX推進会議」等を通じた地域の状況に応じて対策を推進する主体である市町村の取組支援
▶ 「岩手県地球温暖化対策推進本部」における計画の推進、進行管理体制の強化

●：追加した取組 ○：強化した取組

第6章（目標の達成に向けた対策・施策）関係

省エネルギー対策の推進

家庭における省エネルギー化

- 国民運動「デコ活」と連動した脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの促進
- 若者と環境配慮に積極的に取り組む企業との連携による情報発信
- ZEH水準を上回る基準の住宅の普及促進
- 講習会の実施等による高効率な省エネルギー家電の普及促進

産業・業務における省エネルギー化

- 若者と環境配慮に積極的に取り組む企業との連携による情報発信
- 「岩手県脱炭素経営事例集」等を活用した脱炭素経営の理解促進
- 「いわて脱炭素経営カルテ」目標達成率向上に向けた個別の支援

運輸における省エネルギー化

- 県民のマイレール意識の醸成
- 電動車の購入や充電・充てん設備等の整備に係る補助等
- 自転車通行空間、岩手県広域サイクリングルート等の整備等による安全で快適な自転車利用環境の創出

再生可能エネルギーの導入促進

着実な事業化と地域に根ざした再生可能エネルギーの導入

- 自家消費型太陽光発電設備整備に係る補助等
- ペロブスカイト太陽電池等の新技術の普及に向けた取組の推進
- 事業者と市町村における地域裨益協定の締結に向けた支援
- 送配電網の充実・強化等に係る国への要望

自立・分散型（地産地消）エネルギーシステムの構築

- 自家消費型太陽光発電設備整備に係る補助等
- 地域新電力等と連携した県内で発電した電気の県内供給

水素等の利活用推進

- 地域の特性を踏まえた水素利活用モデル等を活用した事業者の燃料転換の促進
- アンモニア、合成メタン等の次世代エネルギー利活用に係る理解促進に向けたセミナー、イベント等による普及啓発

多様な手法による地球温暖化対策の推進

温室効果ガス吸収源対策

- 森林経営計画等に基づく森林整備の促進
- 林業経営体の人材育成の推進
- ブルーカーボンに係る漁業者等の関係者の理解醸成
- バイオ炭の活用検討

廃棄物・フロン類等対策

- 化学肥料の使用量低減に向けた取組の推進
- 水稻栽培における中干し期間の延長や炭素貯留効果の高いバイオ炭の農地施用に関するJ-クレジット制度の周知や技術指導

基盤的施策の推進

- 温暖化防止いわて県民会議の構成団体と連携した再配達削減に向けたプロジェクトの展開



第7章（気候変動への適応策）関係

農林水産業

- 温暖化に対応した「もも」等の品目の導入（農業）
- 温暖化に対応した品種の開発等（農業）
- 海水温の上昇等に対応した新規養殖種の導入支援（水産業）



〔温暖化に対応した市場性の高い「もも」等の導入〕

自然災害

- 「流域治水プロジェクト」を踏まえ、流域全体の関係者が協働して行う防災・減災対策の推進



〔県内の流域治水協議会設置状況〕

健康

- 熱中症特別警戒アラート発令時の訓練
- 熱中症予防に係るクーリングシェルター設置の促進
- クールシェアスポットの普及促進



温暖化防止いわて県民会議 会則

（名 称）

第1条 この会議は、温暖化防止いわて県民会議（以下「県民会議」という。）という。

（目 的）

第2条 県民会議は、自然豊かな環境を守り、県民の生活基盤に影響を及ぼす極めて深刻な環境問題である地球温暖化の防止を図るため、構成団体相互の連携や協働により、温室効果ガスを可能な限り排出しない生活様式や事業活動への転換、気候変動の影響による被害の防止又は軽減に向けた取組を促進することを目的とする。

（活 動）

第3条 県民会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を実施するものとする。

- (1) 温室効果ガス排出量の削減や気候変動の影響による被害の防止又は軽減に向けた構成団体の特性に応じた取組の推進
- (2) 温室効果ガス排出量の削減や気候変動の影響による被害の防止又は軽減に向けた取組に関する情報共有や相互に連携した取組
- (3) その他県民会議の目的を達成するために必要な取組

（組 織）

第4条 県民会議は、第2条の目的及び前条の活動に賛同する別表に掲げる機関・団体及び学識経験者を持って構成する。

2 県民会議の構成団体等は、必要に応じて追加、変更することができる。

3 県民会議の会議は、総会及び次に掲げる各部会とする。

- (1) 事業者部会
- (2) 家庭部会

4 部会の組織及び運営に関する事項は、会長が別に定める。

（役 員）

第5条 県民会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人

2 会長は、総会において選任する。

3 副会長は、会長が指名する。

（役員の仕事）

第6条 会長は、県民会議を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

3 副会長は、部会長を兼務する。

(役員の任期)

第7条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 欠員が生じたことにより就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、その任期が満了した場合、後任者が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

(総 会)

第8条 総会は、会長が必要に応じて招集し、県民会議が実施する活動について協議する。

2 総会においては、会長が議長となる。

3 会長は、必要に応じて、総会に構成員以外の者の出席を求めることができる。

(庶 務)

第9条 県民会議の庶務は、岩手県環境生活部環境生活企画室において処理する。

(補 則)

第10条 この会則に定めるもののほか、県民会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この会則は、平成21年 6月22日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年 2月16日から施行する。

附 則

この会則は、令和元年 6月18日から施行する。

附 則

この会則は、令和5年 6月 5日から施行する。

附 則

この会則は、令和6年 6月 3日から施行する。

附 則

この会則は、令和7年 6月16日から施行する。

温暖化防止いわて県民会議 構成団体等一覧【103団体・機関】

令和7年6月16日現在

区 分	No.	団 体 ・ 機 関 名
◇ 事業者部会		
産業関係団体	1	岩手県農業協同組合中央会
	2	岩手県森林組合連合会
	3	岩手県漁業協同組合連合会
	4	岩手県土地改良事業団体連合会
	5	岩手県商工会議所連合会
	6	岩手県商工会連合会
	7	岩手県中小企業団体中央会
	8	一般社団法人岩手経済同友会
	9	一般社団法人岩手県経営者協会
	10	岩手県中小企業家同友会
	11	岩手県生活協同組合連合会
	12	一般社団法人岩手県建設産業団体連合会
	13	一般社団法人岩手県工業クラブ
	14	岩手県環境保全連絡協議会
	15	一般社団法人岩手県産業資源循環協会
	16	岩手県冷凍空調設備工業会
エネルギー関係団体	17	岩手県石油商業協同組合
	18	岩手県都市ガス協会
	19	東北電力株式会社岩手支店
運輸関係団体	20	一般社団法人日本自動車販売協会連合会岩手県支部
	21	公益社団法人岩手県バス協会
	22	公益社団法人岩手県トラック協会
	23	一般社団法人岩手県タクシー協会
	24	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社
	25	I G Rいわて銀河鉄道株式会社
	26	三陸鉄道株式会社
民生業務関係団体	27	岩手県電機商業組合
	28	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合
	29	日本チェーンストア協会東北支部
金融機関	30	岩手銀行
	31	東北銀行

金融機関	32	北日本銀行
	33	盛岡信用金庫
学識経験等	34	国立大学法人岩手大学
	35	公立大学法人岩手県立大学
	35	学校法人富士大学
	37	学校法人盛岡大学
	38	盛岡地方気象台
◇ 家庭部会		
地域活動団体等	39	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会
	40	岩手県消費者団体連絡協議会
	41	岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会
	42	岩手県公衆衛生組合連合会
	43	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会
学校・教育団体等	44	岩手県小学校長会
	45	岩手県中学校長会
	46	岩手県高等学校長協会
	47	一般社団法人岩手県私学協会
	48	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会
	49	一般社団法人岩手県P T A連合会
	50	岩手県高等学校P T A連合会
報道機関	51	株式会社岩手日報社
	52	朝日新聞盛岡総局
	53	読売新聞盛岡支局
	54	河北新報社盛岡総局
	55	日本経済新聞社盛岡支局
	56	一般社団法人共同通信社盛岡支局
	57	デーリー東北新聞社盛岡支局
	58	毎日新聞盛岡支局
	59	日本放送協会盛岡放送局
	60	株式会社I B C岩手放送
	61	株式会社テレビ岩手
	62	株式会社エフエム岩手
	63	株式会社岩手朝日テレビ
	64	株式会社岩手めんこいテレビ
行政機関等	65	環境省東北地方環境事務所
	66	岩手県市長会
	67	岩手県町村会

行政機関等	68	盛岡市（※）
	69	宮古市
	70	大船渡市
	71	花巻市
	72	北上市
	73	久慈市（※）
	74	遠野市
	75	一関市
	76	陸前高田市
	77	釜石市（※）
	78	二戸市
	79	八幡平市
	80	奥州市（※）
	81	滝沢市
	82	雫石町
	83	葛巻町
	84	岩手町
	85	紫波町（※）
	86	矢巾町
	87	西和賀町
	88	金ヶ崎町
	89	平泉町
	90	住田町
	91	大槌町
	92	山田町
	93	岩泉町
	94	田野畑村
	95	普代村
	96	軽米町
	97	野田村
	98	九戸村
	99	洋野町
	100	一戸町
	101	岩手県地球温暖化防止活動推進センター
	102	岩手県教育委員会
	103	岩手県

※市町村は全市町村が参加しているが、総会には各地域の代表として5市町村に参加いただいているもの。



クマを見たら…**投稿**しよう！



岩手県全域版
クマ出没情報アプリ

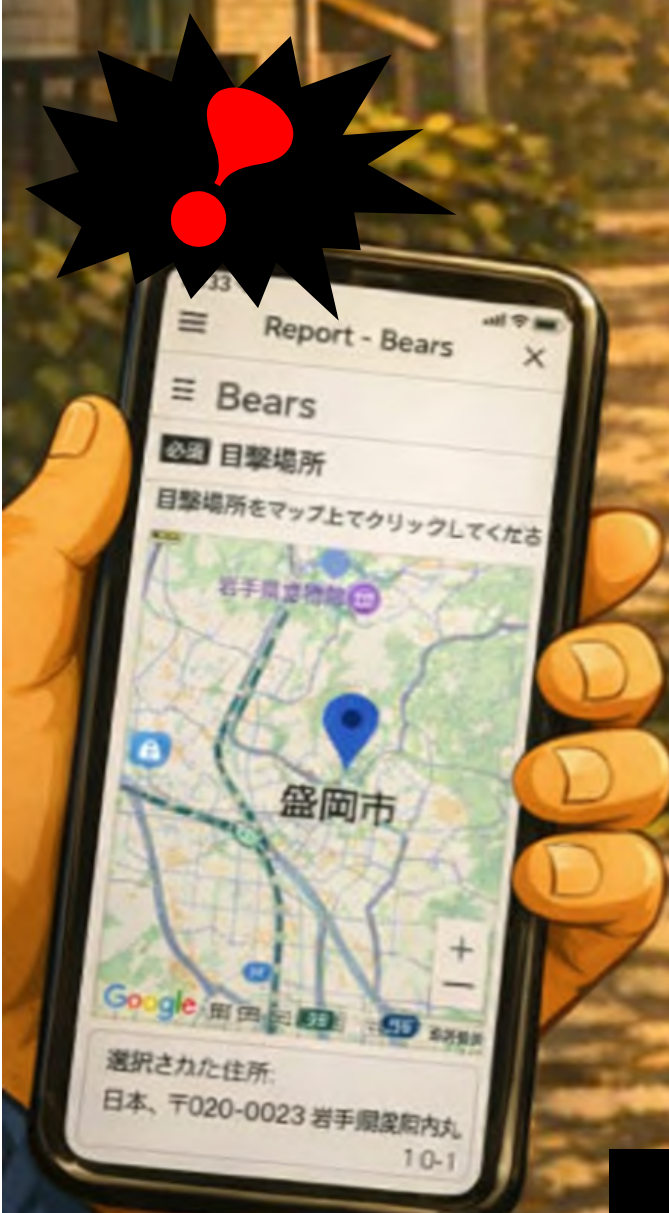
Bears (ベアーズ) 運用開始!

LINEで

クマ目撃場所
を**投稿・通知**



左記QRから、
岩手県公式LINE
を友だち登録



(注) 安全を確保してから投稿して下さい。

岩手県環境生活部 自然保護課野生生物担当 TEL : 019-629-5371



クマ目撃情報を共有



県公式LINEと連携

LINEで投稿！

岩手県公式LINEから簡単に
クマ目撃情報を投稿できます。

必要項目を記載して、地図上に**ピンを立てるだけ**で、迅速に情報共有できます。

岩手県公式LINEを開いて、「防災・震災復興」メニューを選択



「クマを見た!」から
ピンを立てれば投稿完了

LINEから通知！

登録した地域でクマが出没したら、**岩手県公式LINE**から**注意喚起通知**が届きます。

周辺地域の**出没情報の確認**
や安全確保に活用できます。

岩手県公式LINEから通知



「クマはどこ?」から
マップで閲覧可

誰でも**カンタン!**

【発行元】

岩手県環境生活部 自然保護課野生生物担当

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL: 019-629-5371